

漫画onWeb



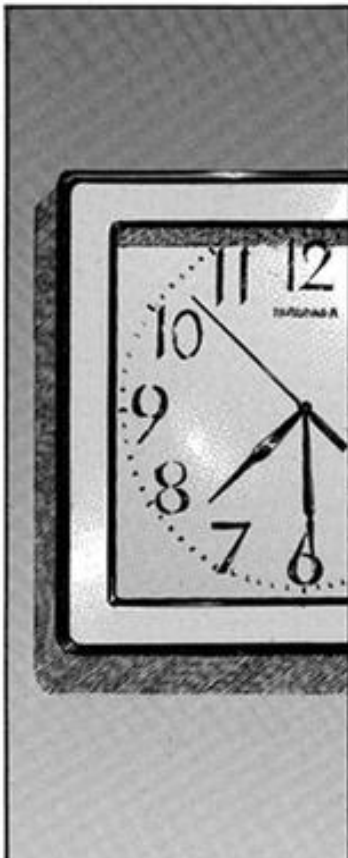
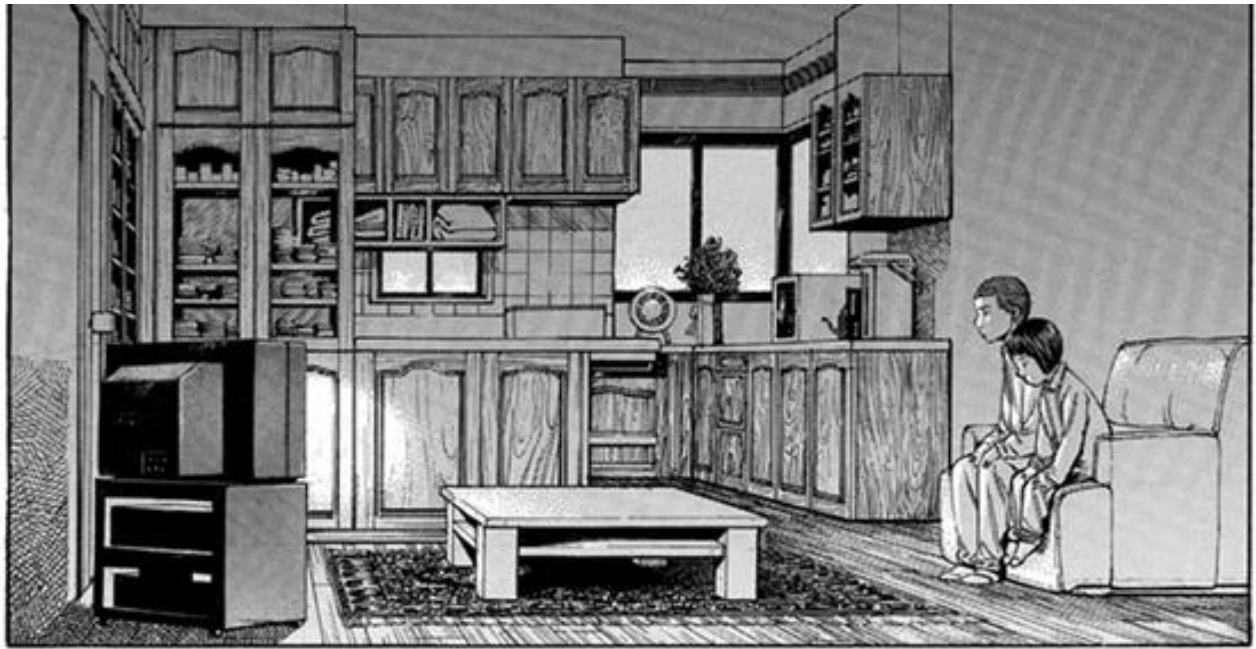
ブラックジャックに
よるしく

8

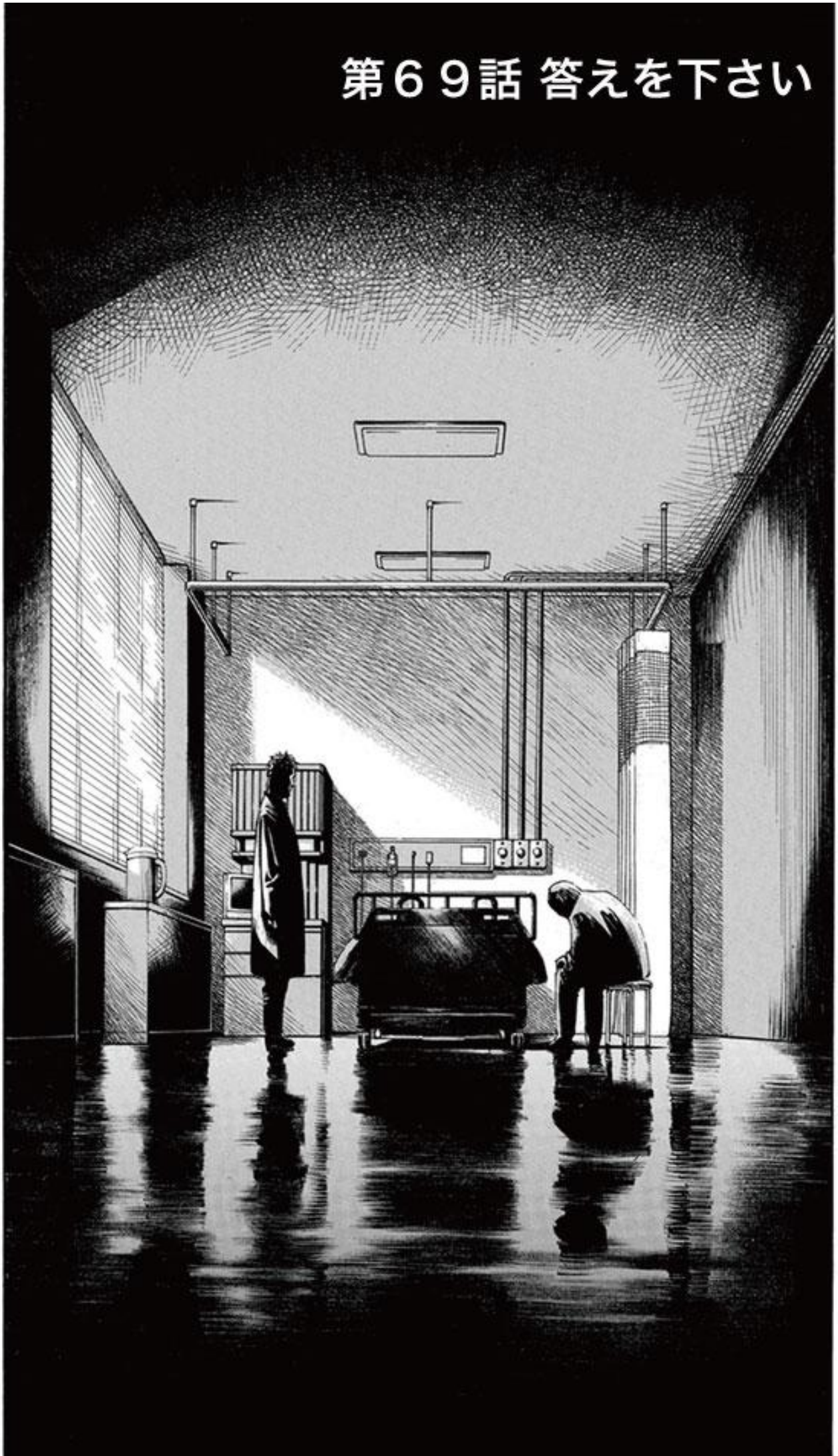
佐藤秀峰

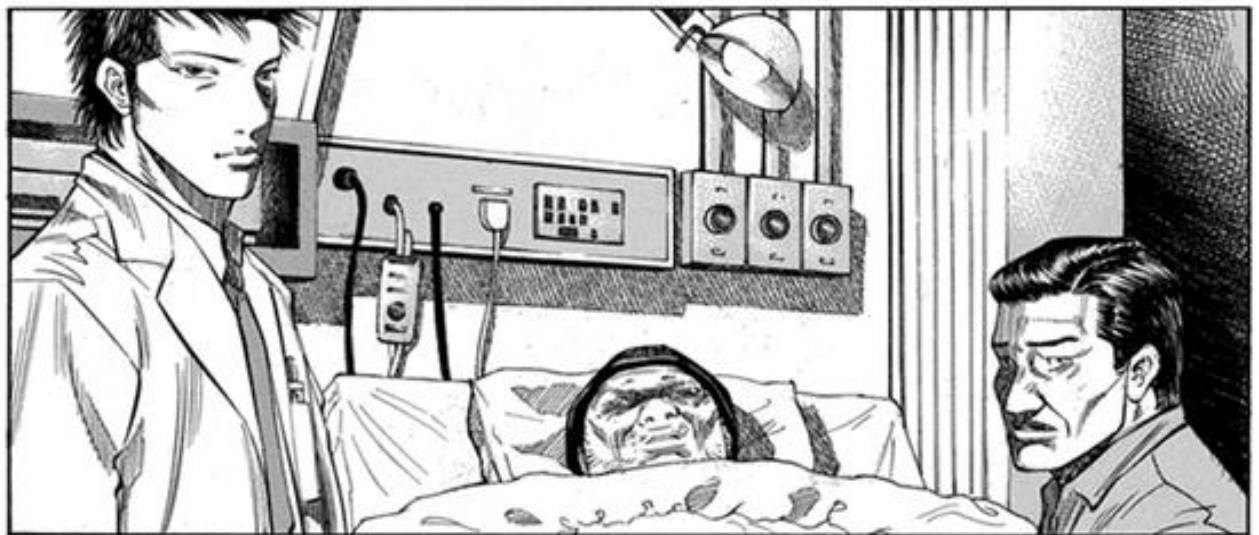
CONTENTS

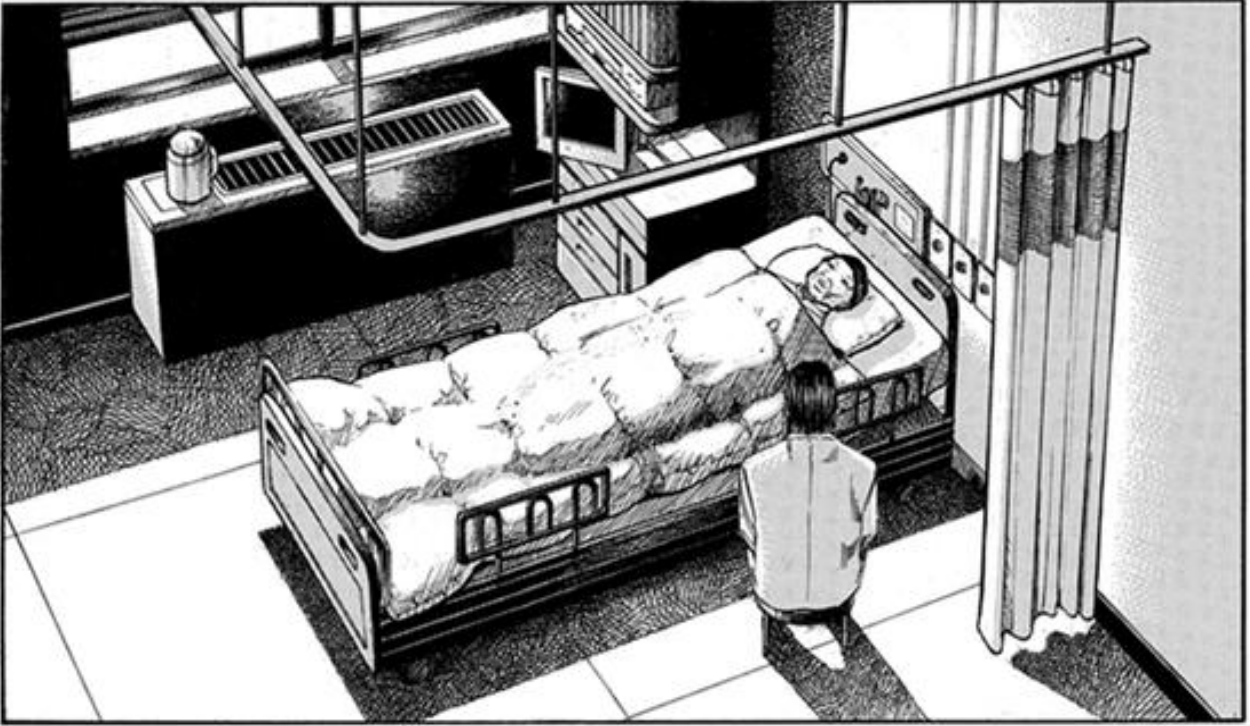
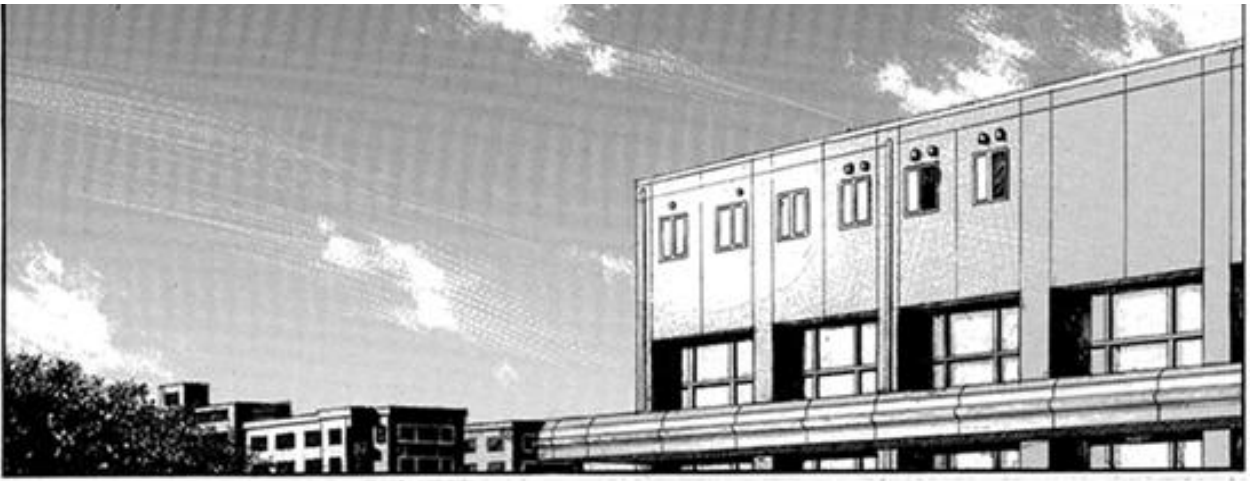
- 第69話 答えを下さい
- 第70話 死神に生を説く
- 第71話 進み出した時間
- 第72話 誰もしない『仕事』
- 第73話 あなたが教えてくれた事
- 第74話 普通の最期
- 第75話 命果てる日まで
- 第76話 大きな樹の下で
- 第77話 約束
- 第78話 心のすべて
- 第79話 若者たち



第69話 答えを下さい







嫌になっちゃいますよね……



骨に転移した可能性がある
そうですね……

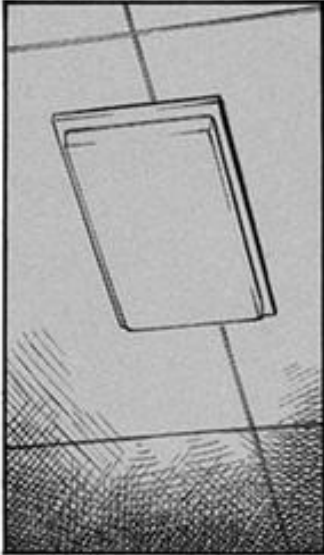


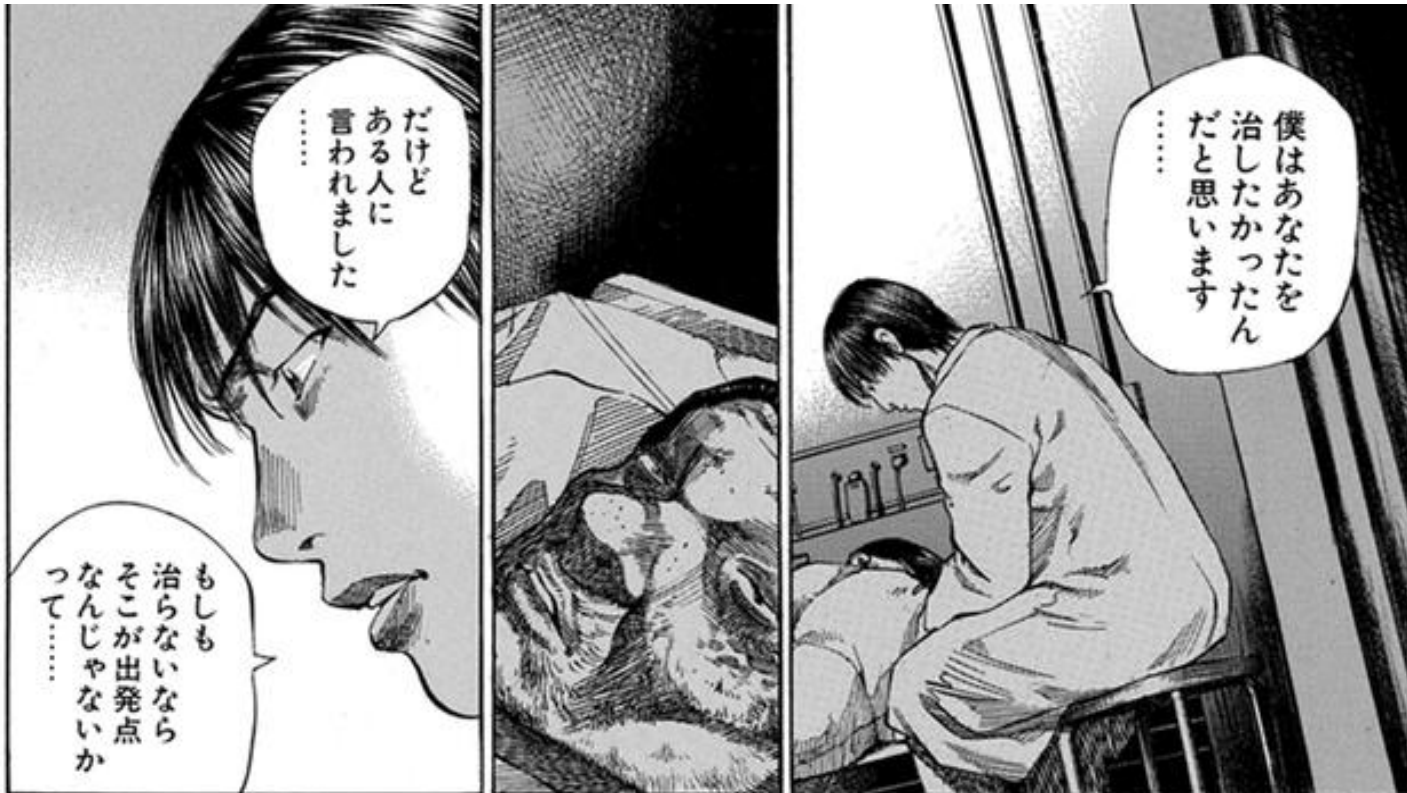
手術の時は
予約がつかまって
いて
撮れなかった
CTが

救急車で運ばれて
くれば今度は
優先的に撮れる
んですからね……









僕はあなたを治したかったんだと思います……

だけどある人に言われました……

もしも治らないならそこが出发点なんじゃないかって……

僕は確かに僕のために医者をやります……

辻本さんが何を望んでいるか知りたいんです……

でもそれは患者さんのためでもなきや意味ないんです……

教えてください……

僕にできる事は何ですか……? ……?



なぜTS-1
という薬を
私に使おうと
思ったんです
か……？



昔……
今のTS-1と
同じく……

未承認薬を
ある患者さんに
使った二人の医者が
いました……



未承認薬と
いうのはとても
お金がかかる
ものなんです
……

薬は一定の
効果を上げまし
たが……

その治療には
莫大なお金が
かかりました……



結局 患者さんは
亡くなり……

その二人の医者は
その後 未承認薬を
使う事をやめました
……



……
もう一人は

抗がん剤自体を
患者さんに
使わなくなり
ました……

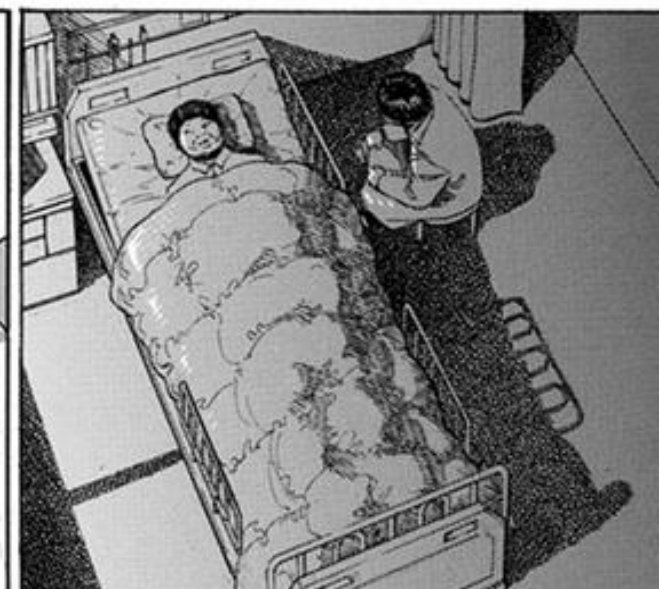


……
一人は現在
抗がん剤の研究に
力を注いでいます
……



僕は思い
ました……

……？
未承認薬は
本当に使うべきじゃ
ないんでしょうか
……？





もしも
その患者さんが
今の二人を
見たら……

すごく悲しむんじや
ないかって
……



すいません
……

やっぱり僕は
自分の勝手な
思い込みを 辻本
さんにおつげようと
したのかもしれ
ません……

その二人の
お医者さんと
いうのは
……

一人は
庄司先生の
事ですか
……？



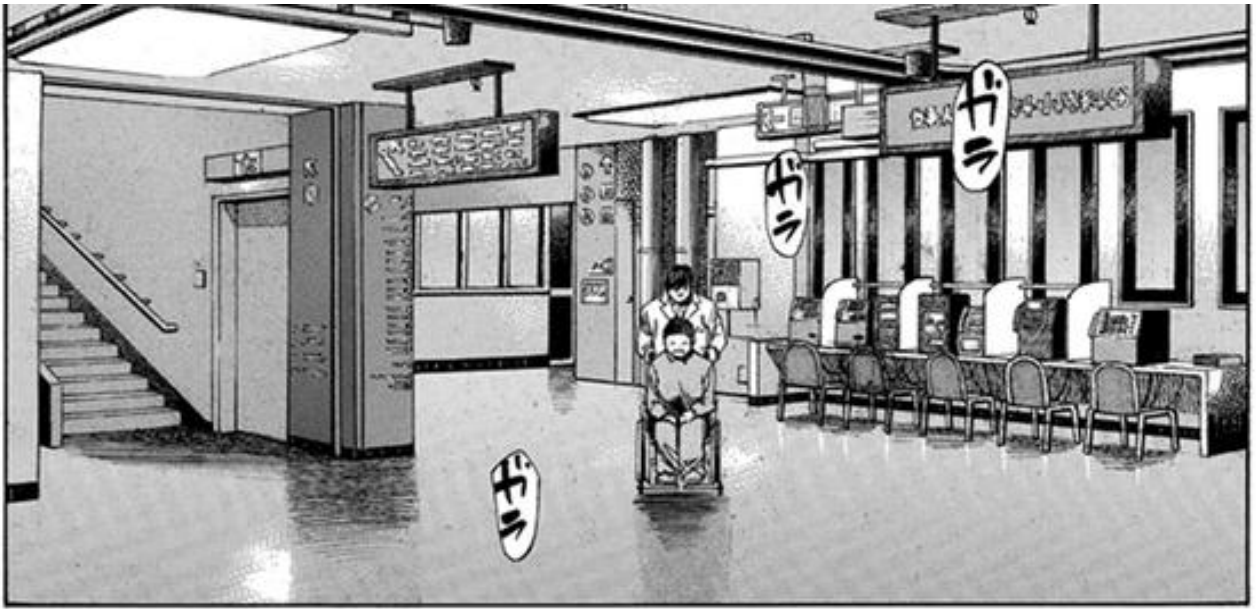


教えて下さい
……

私は何を
すればいいん
ですか……？



死にたく
ないんです
……









極論です
先生……

いきなり
そんな事を
言われて誰が
納得できますか
……？



それが
いつからか
医者は病気を治す
事にしか興味を
なくし……

死を敗北と
とらえるように
なりました……



生きて死ぬ
事は……

本来
生物にとって
自然な出来事
です……



死は
敗北ですか
……？



.....
バカにすんな



.....
上から人を見下ろして

あなたに何が分かっていていうんですか.....?







死とは一体
何ですか……？



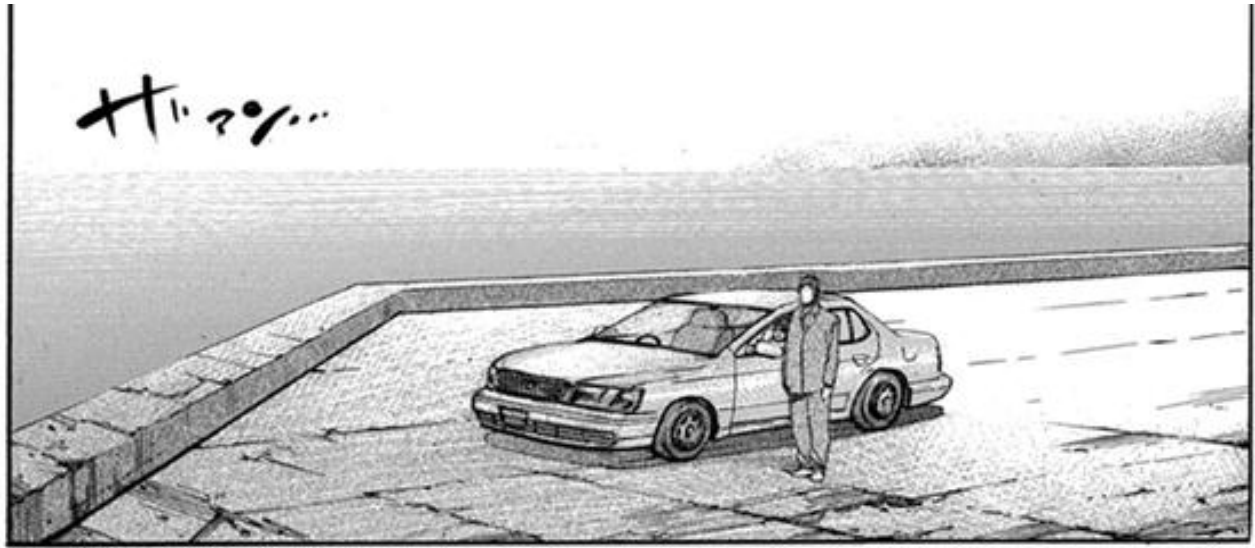
あなたの
答えを……

教えて
下さい
……









第70話 死神に生を説く





彼女の最後の
言葉です……



「もっと
生きたかった
……」



彼女は
生きたかった
……



私は彼女の
命がとぎれる
その瞬間まで
……

彼女を「生」へ
縛りつける事しか
できなかった……



F



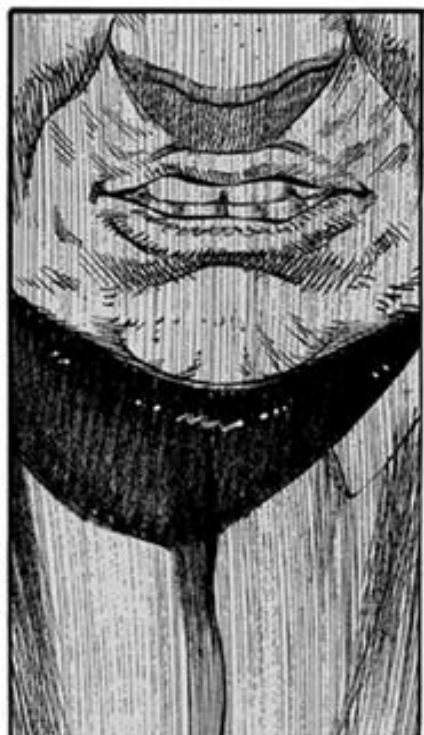
死とは一体
何ですか
……？



死は
絶望ですか
……？



死は
敗北ですか
……？



死とは
不幸で……

否定されるべき
ものでしか
ないのですか
……？





私は……

生きたいと
思っちゃ
いけない
ですか……？



人にはいつか
終わりが
あります……



人を
死の受容から
遠ざけます……



生きる事への
執着は……



ならば
必要なのは
やみくもな治療
ではなく……

死と向き合う
事では
ありませんか
……？



……!!
僕は死にたく
ありません





だって
プロポーズ
したんでしょ
……？



だけど
ズルイですよ
……



気まぐれや
いい加減な気持ちで
したんじゃないん
でしょ……？



それを受けた
相手にだって
嘘なんか
なかったんでしょ
……！




もしも真剣に
生きる事が
できたんなら
……

どうして
死ぬ時に
後悔なんか
しますか……!?



必死に
生きようと
する事は……

死を
受け入れる事と
そんなに違う事
ですか……?!

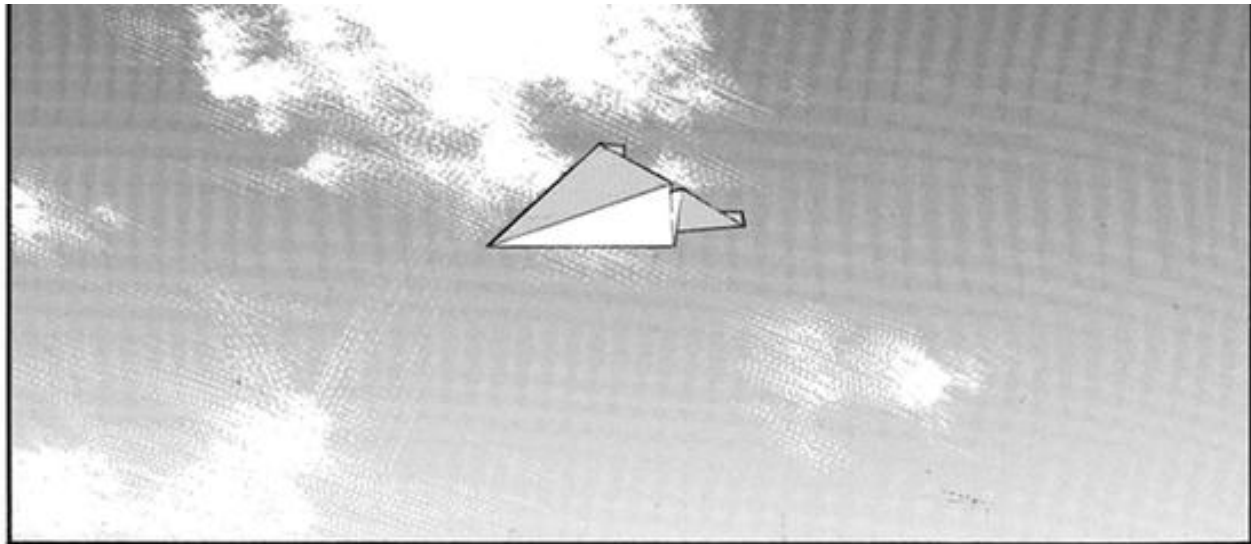


生と
向き合う事
は……

死と向き合う
事と同じ事では
ありませんか
……!?











TS-1
という薬を
……

私に
使わせて
下さい……



TS-1で
がんは
治りませんよ
……

未承認薬
とは言っても
結局は
抗がん剤です
……

過剰な期待は
するべきでは
ありません
……



それでも使って
みたいんです
……



先生も私に
ジェムザール
という薬を
使ったじゃない
ですか……



延命
できるとは
限りません
……

副作用だって
どうなるのか
……



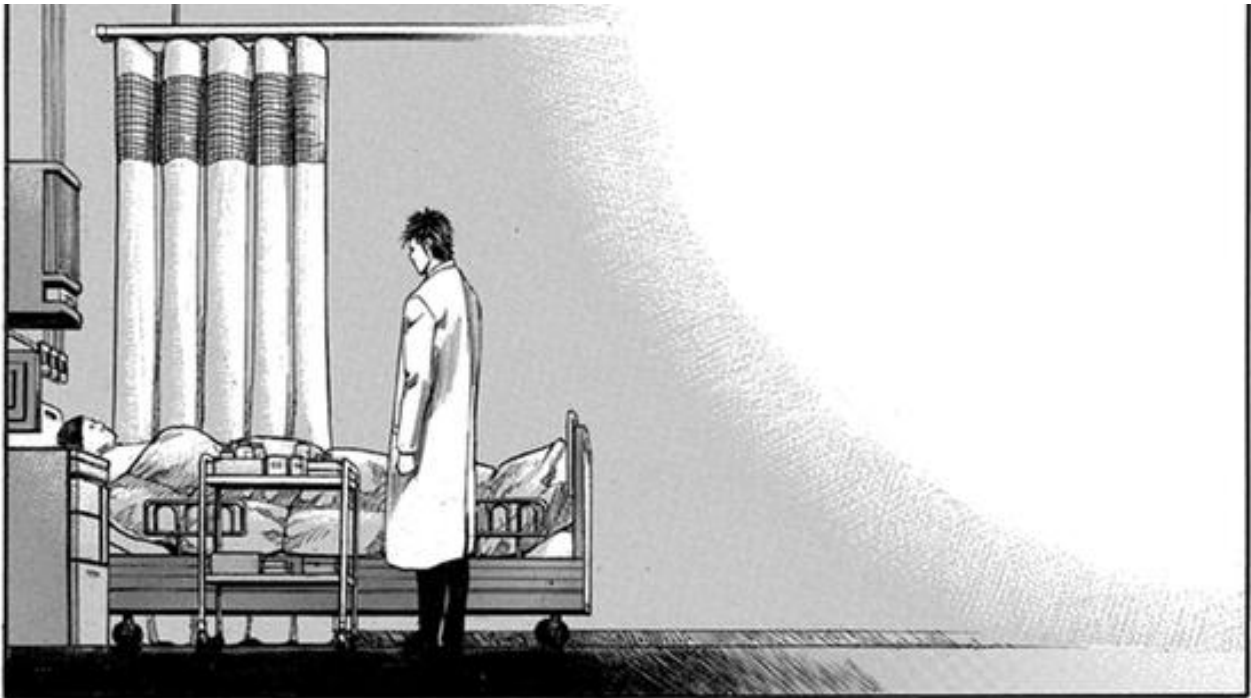
もしかしたら
いい事がある
かもしれないと
思ったから
使ったんでしょ
……？



あの薬なら
私のがんを
治せると思って
使いましたか
……？







たとえその薬で
がンを治す事が
できなくても
できなくても
……

一生懸命
考えたいんです
……

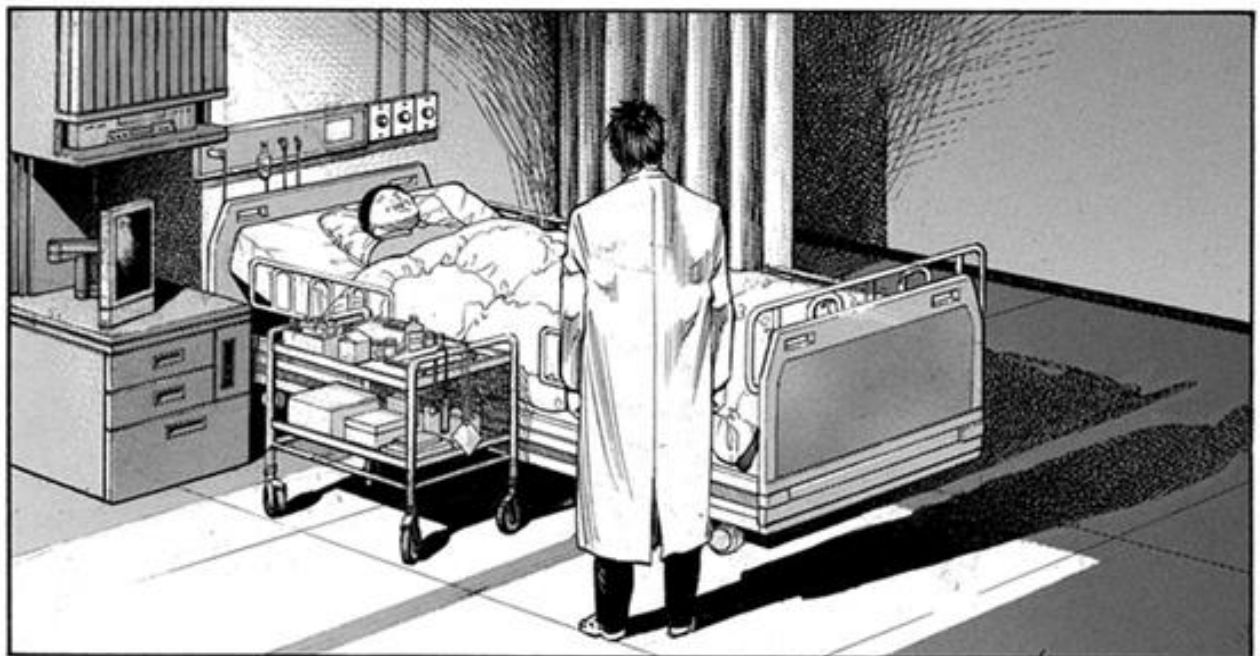


……
自分の事とか

……
家族の事とか

うまく
言えないけど
その……

……
がんから
逃げたく
ないんです
……



お好きに
なさって下さい
……







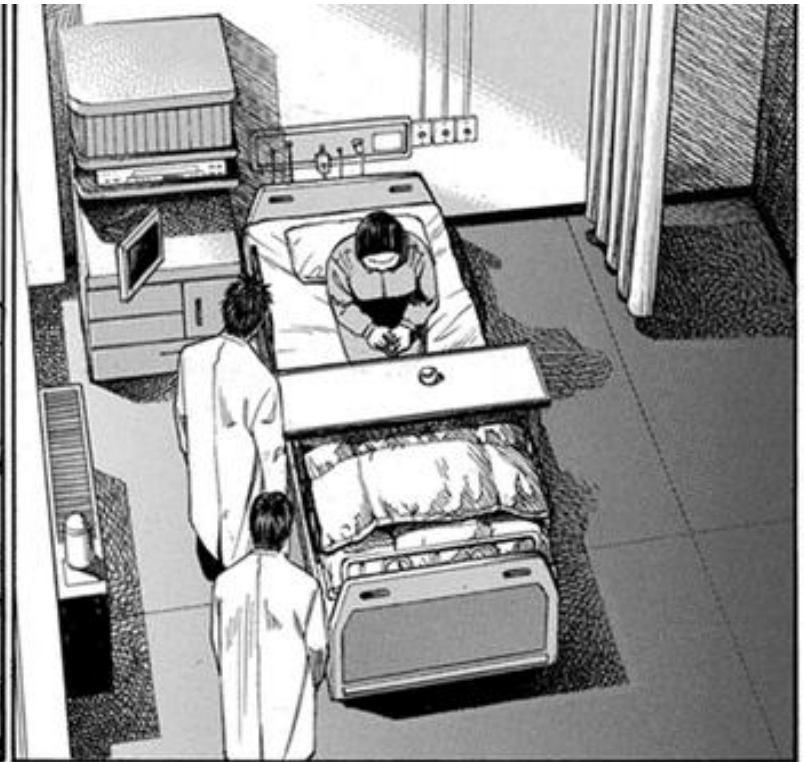


第71話 進み出した時間

4月半ば——

辻本さんへの
TS-1の
投与が決定した







辻本さん
……

これから
あなたには
胃がんに
なってもらいます
……



TS-1は
胃がんの薬
です

保険が
きかなかつた
場合……

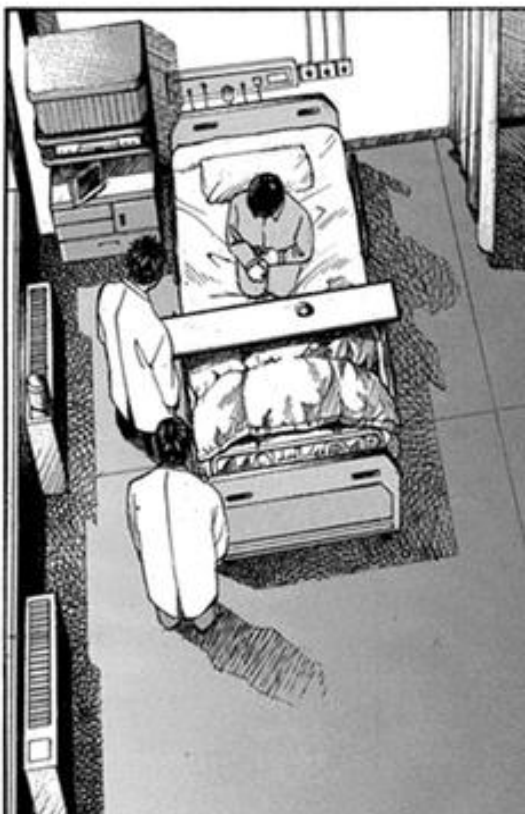
毎月の治療費は
おそらく100万を
超えます……

膵臓がんすいぞうがんに
使っても保険は
おりません
……



それは
その……

診断書に
嘘を書くという
事ですか……？







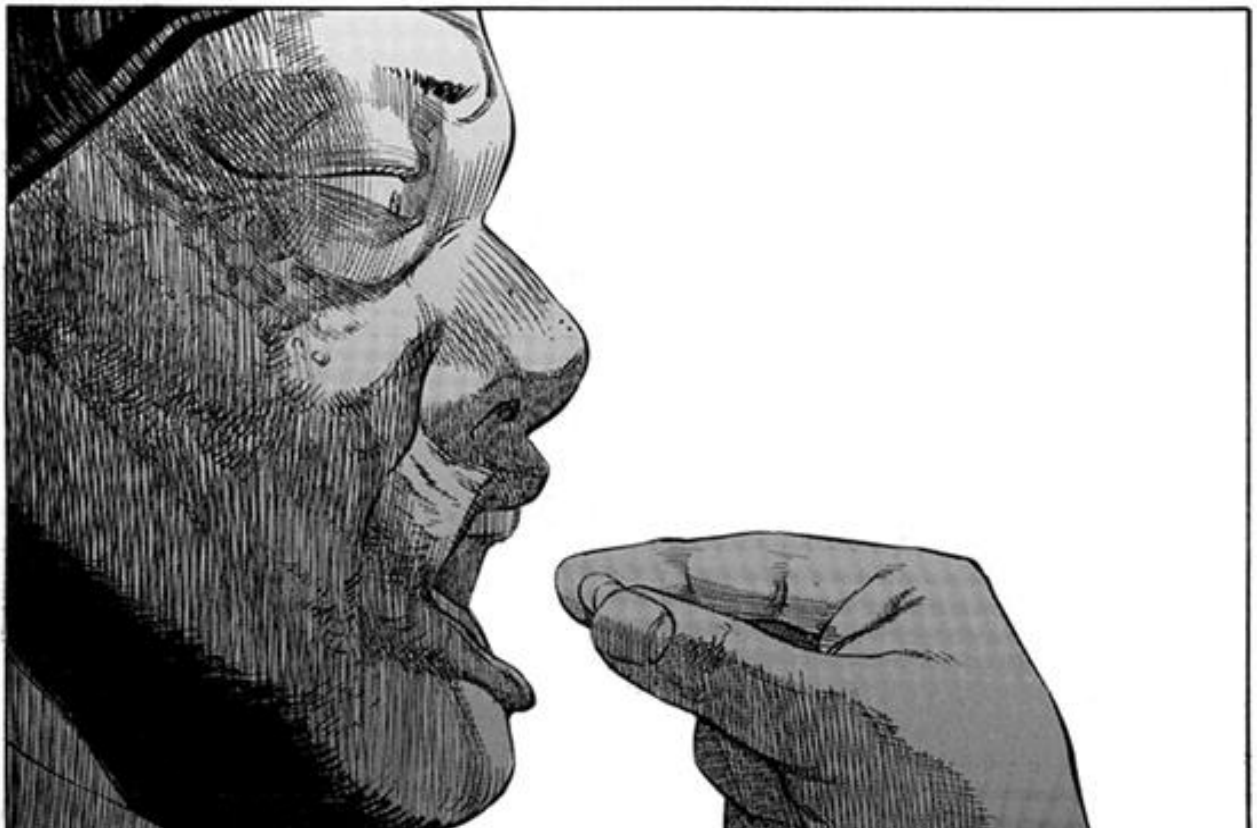
辻本さん……

あなたです

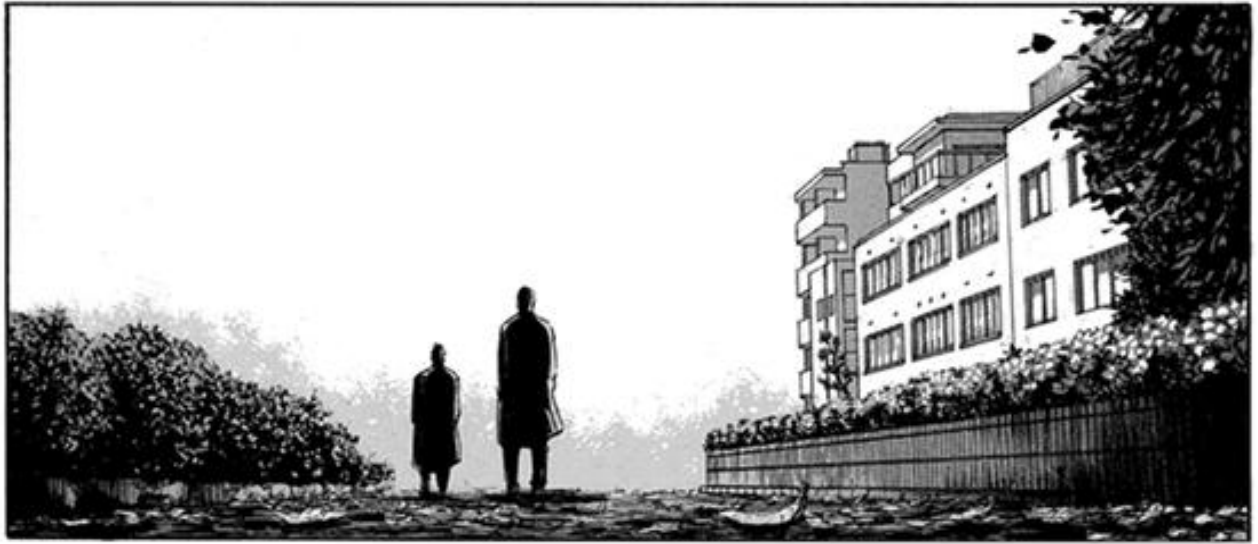


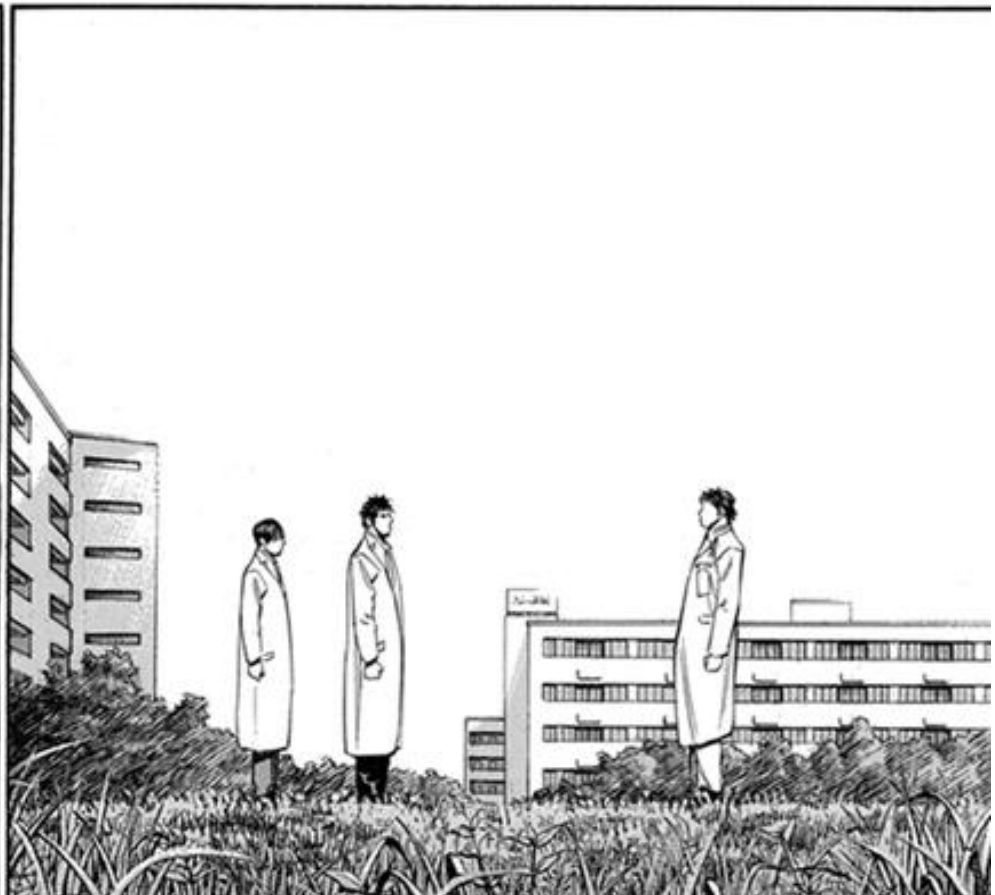
医療を
変えていくのは

我々 医者じゃ
ない……



















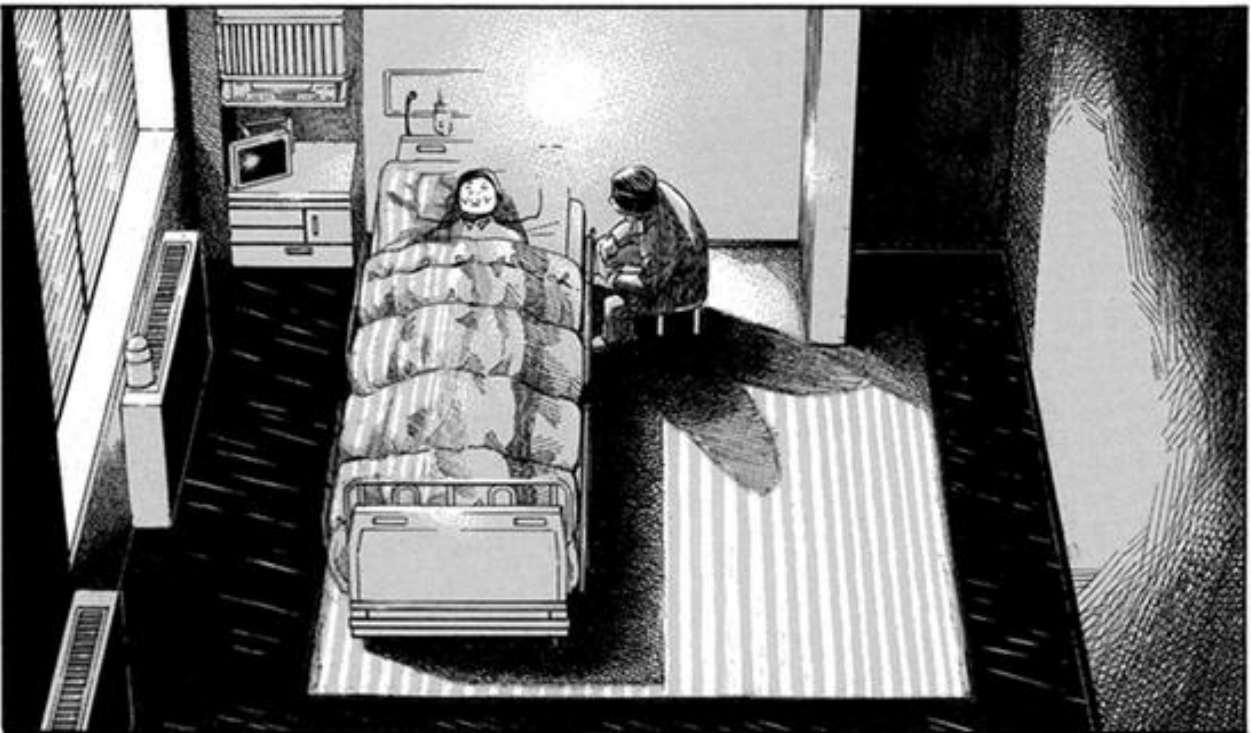
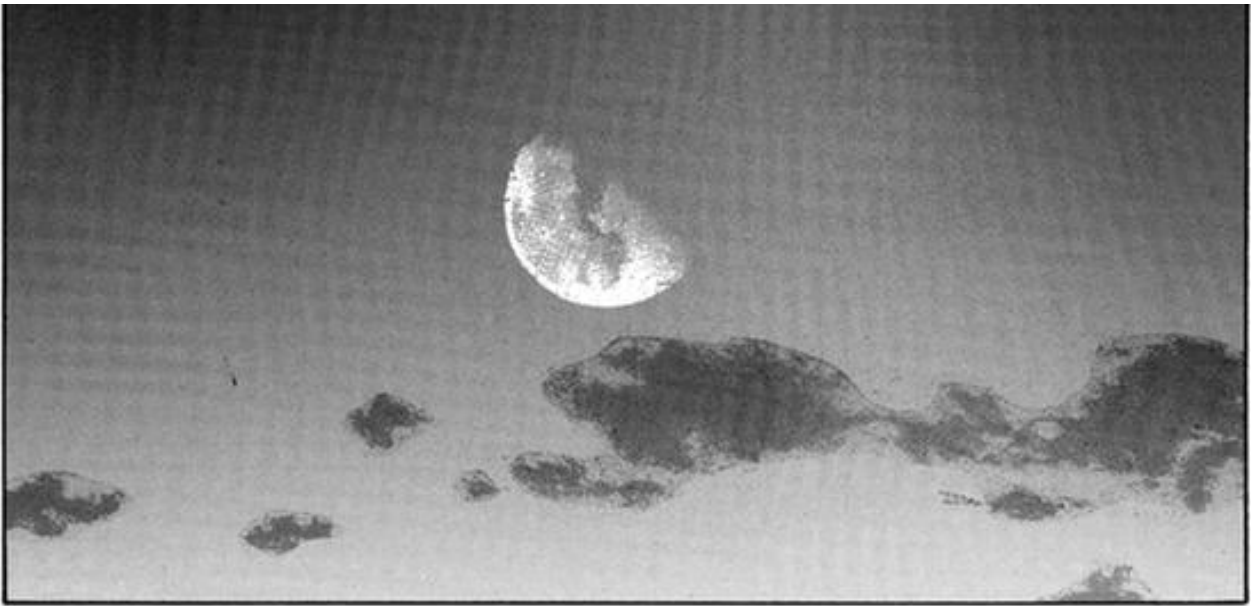
今さら
お前を許せと
言うのか……？

僕はずっと
ここで待ってたん
だぞ……















子供達に
……



言わなくて
いいのかな
……？









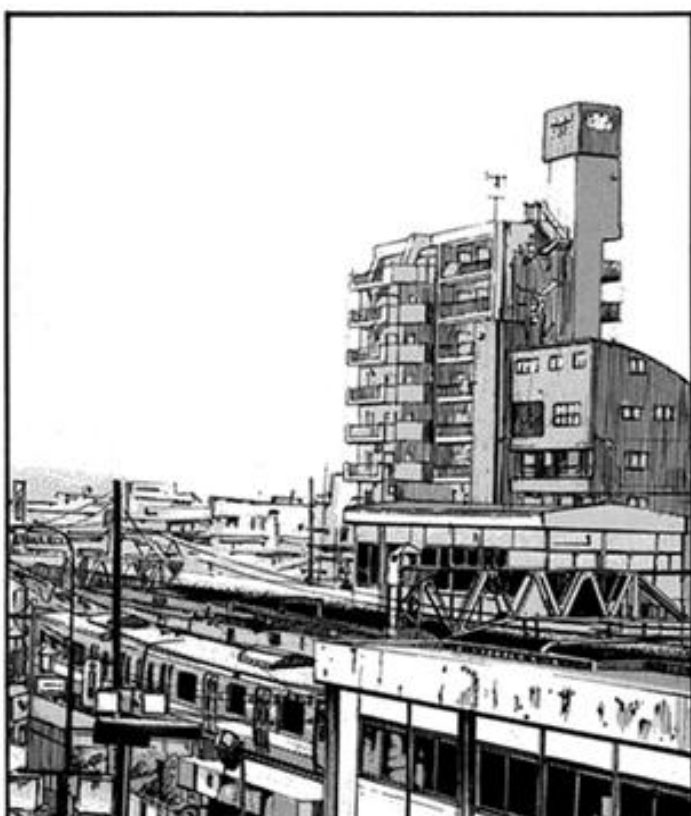
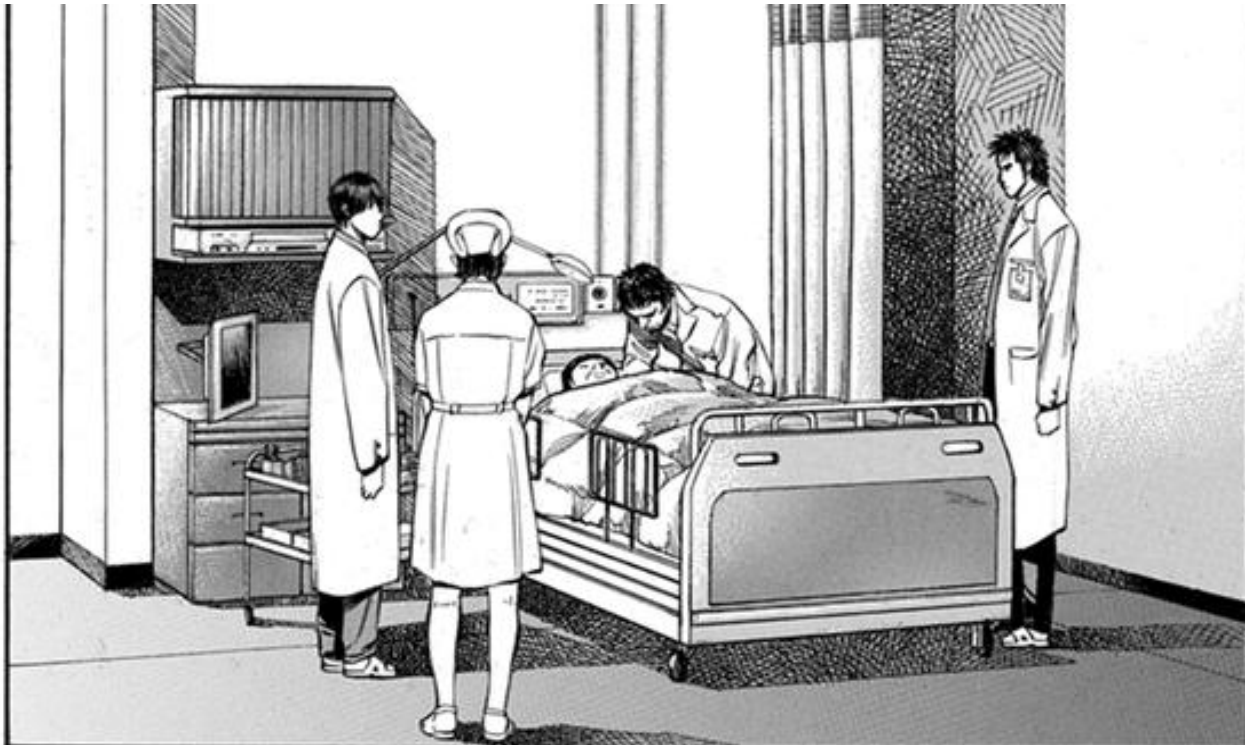


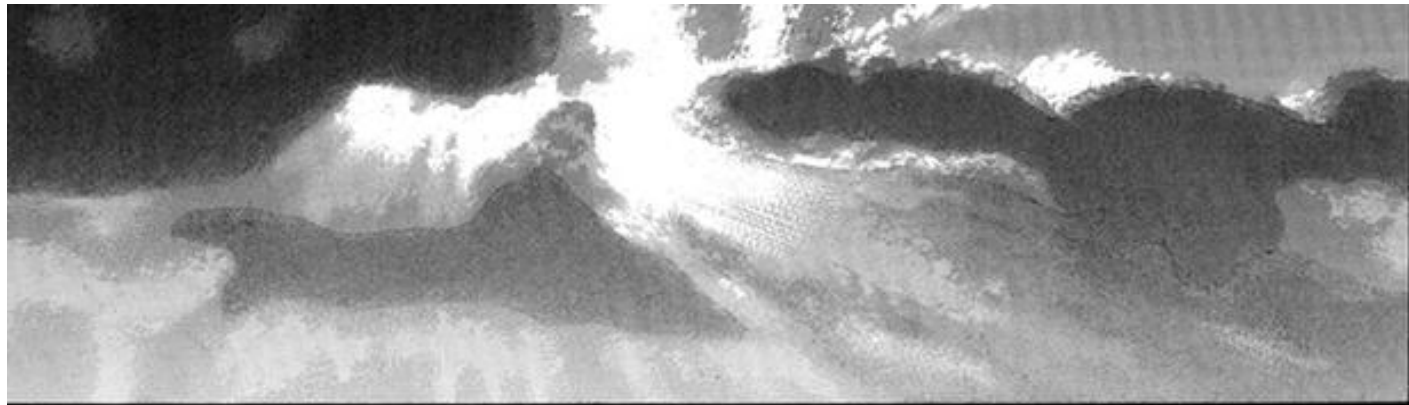
第72話 誰もしない『仕事』

















150万人の
患者が……

今この瞬間も
末期がんの痛み
に苦しんでいる……

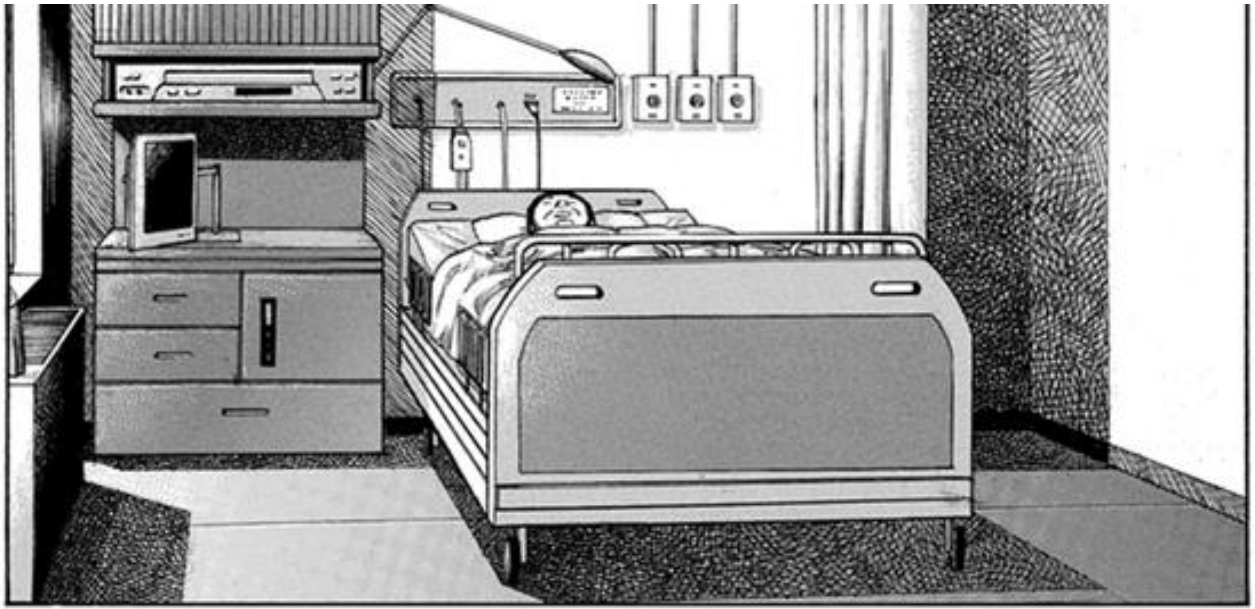


誰も
死が決まった
患者の治療に
興味をもたない
……



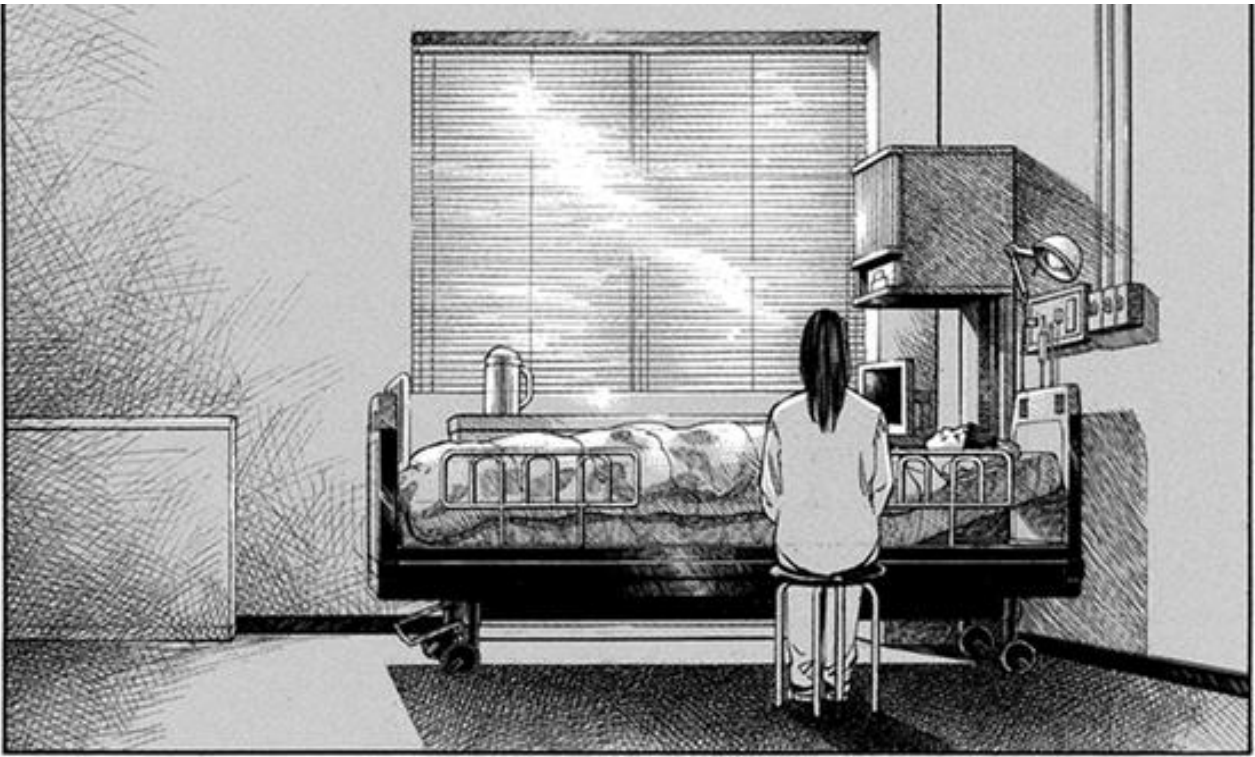
「医者の仕事は
患者を治す事だ」
と……

そう考えている
医者があまりにも
多すぎる……











私……

両親とも
がんで亡くして
いるんです……



がんで
その……

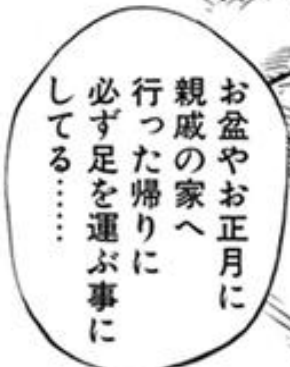
なんか
運命的ですよ
ね……



あなたも
宇佐美先生に
訊かれたの
……？

死って一体
何なんだって
……







そこには大きな木があつて……

その木は何百年も前からそこに
あるの……



私がまだ子供だった頃は……

私は私の父に連れられてそこへ行ってた……

その頃は私……

何でわざわざそんな思いして山の中に木を見に行くのか分からなかった……

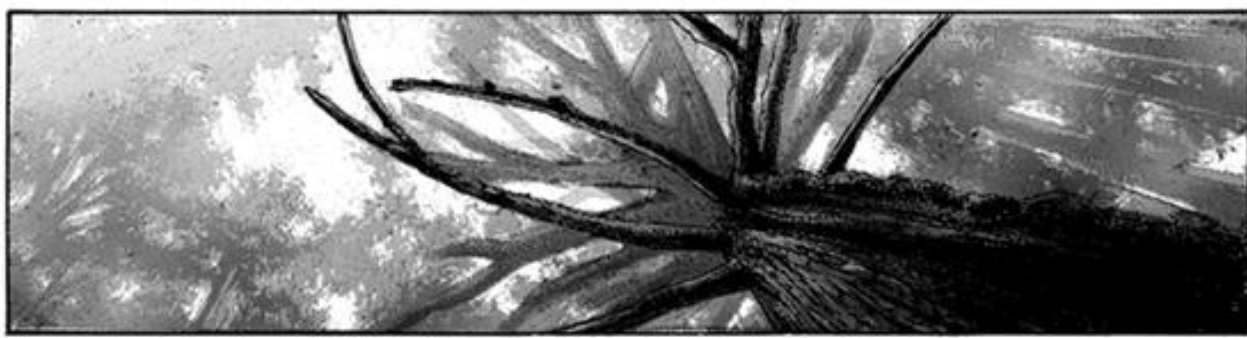


あなたが
いなくなっても……

何も
変わらない……



毎日
は
続
い
て
い
く
の
……



だ
け
ど
そ
れ
は
……

あ
な
た
が
独
り
ぼ
ち
ち
っ
て
い
う
事
な
の
か
な
……
？



上
手
く
説
明
で
き
な
い
け
ど
……

世
界
が
続
く
な
ら
あ
な
た
は
き
っ
と
独
り
じ
ゃ
な
い
……









辻本さん

あなたが
抗がん剤を
使う目的は
何ですか……？



通常
抗がん剤と
いうのは……

延命やがんを
小さくする事を
目的に
使います……

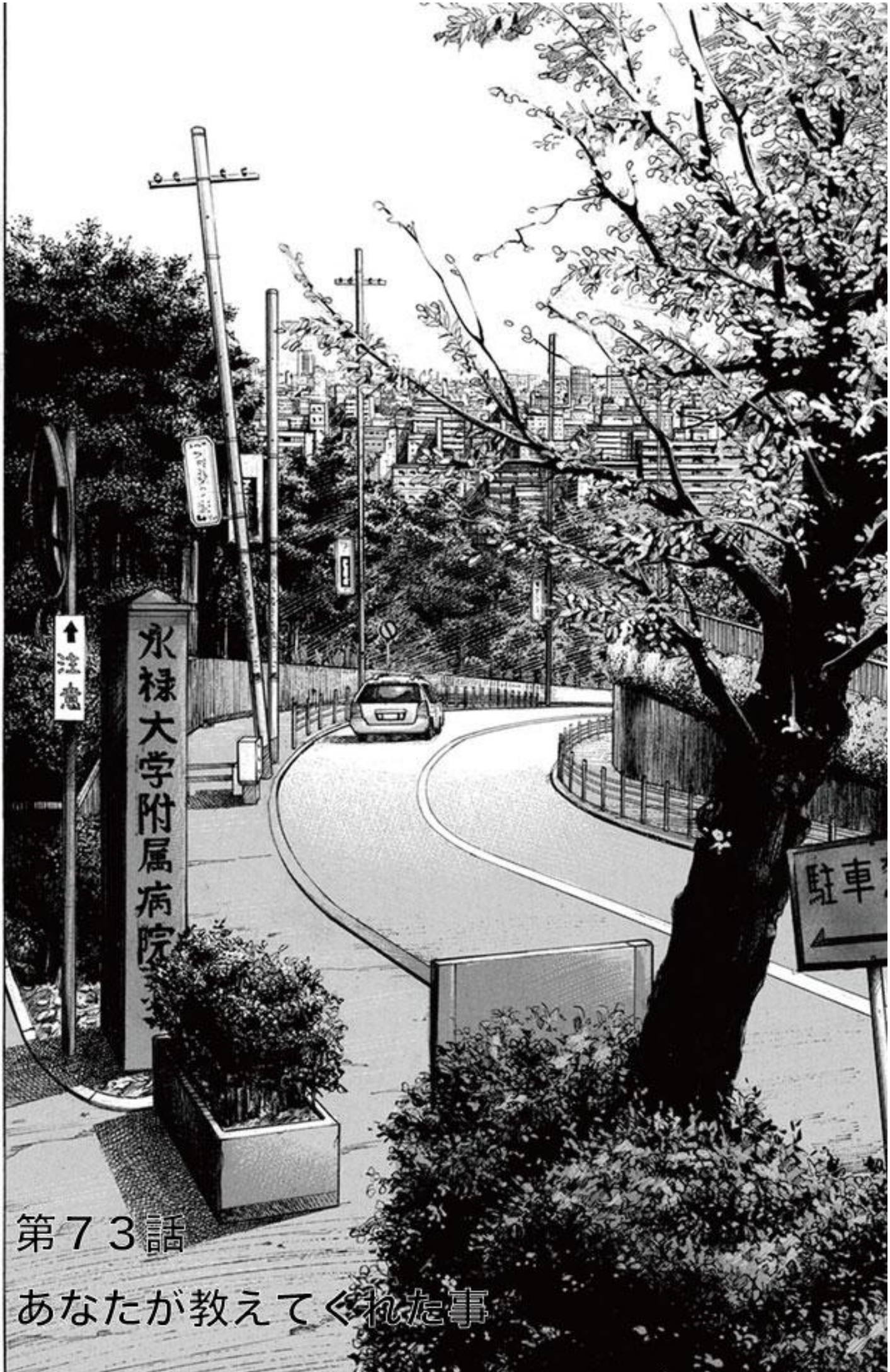


もしも
あなたが
そう考えて
いるのなら
……

抗がん剤の
使い方は一つでは
ありません……



しかしあなたは
がんと向き合う
ために TSS-1 を
使いたいと
おっしゃいました
……



第73話

あなたが教えてくれた事





辻本さんを
病院に
しぱりつけておく
理由がない……



確かに副作用は
抑えられて
いるかも
しれませんが
……

標準の
一日100mgより
ずっと少ない
量です……



今辻本さんが
飲んでいる
TS-1の量は
一日80mgです
……



辻本さんから
すれば
TS-1を
飲めばそれで
満足なのかも
しれませんが
……

だけど飲む以上
効果の期待できる
量を与えるべきでは
ありませんか
……？

効果って
何だ……？



ねえ
あなた……



どうして
私に全部
告知しようと
思ったの……？









何年
かかったって
……

お前の死を
乗り越えて
いこうと思う
……



残されていく
オレや子供達
には時間が
ある……



ポロ……



自分の事なら
自分で何とか
できる……

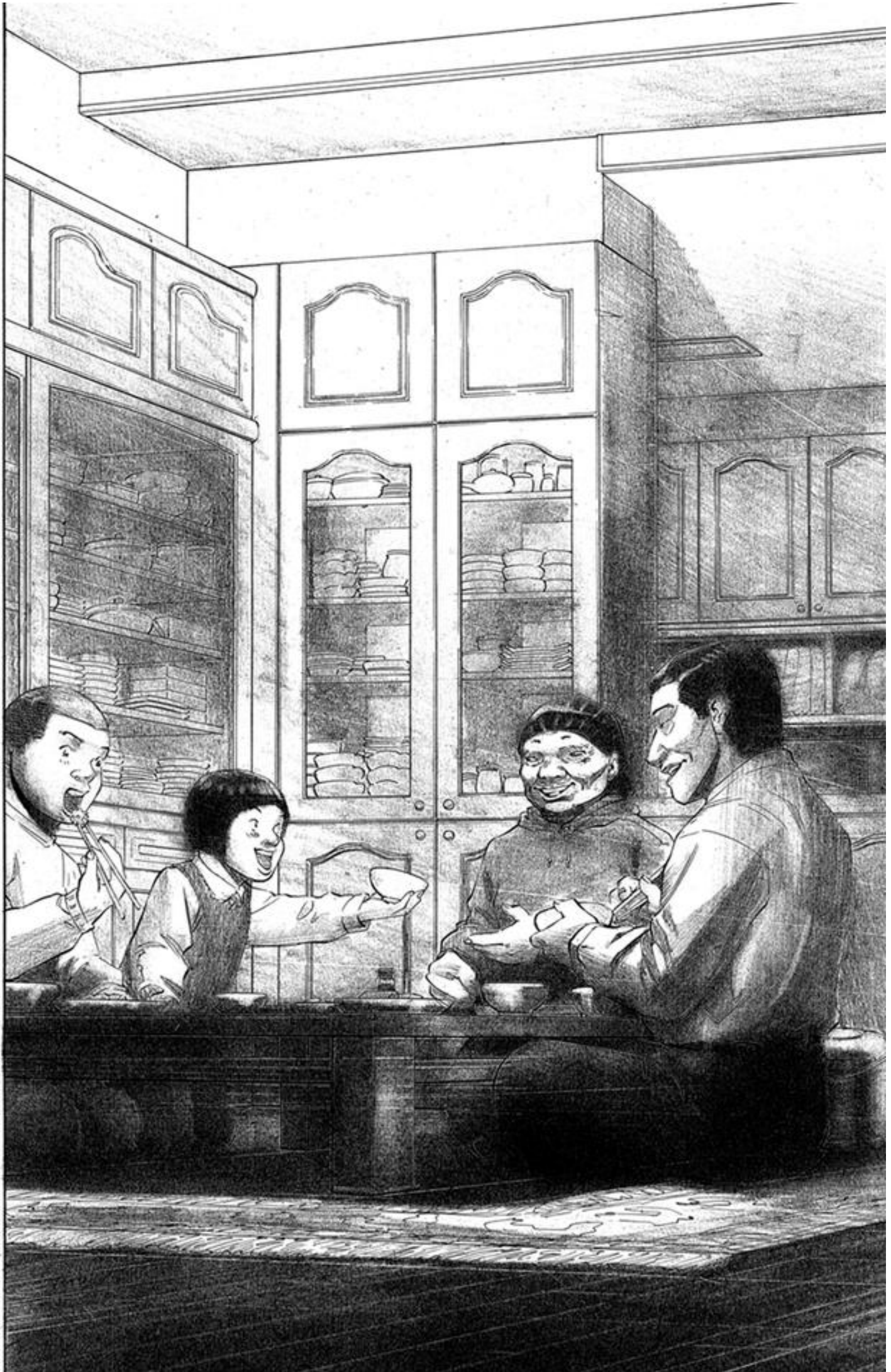


もしも
乗り越えて
いけなかったと
しても……

それは
自分の問題だ
……











この分なら
今週はモルヒネの
量を少し減らせ
そうです……



……
そうですか

それじゃ
庄司先生の
言った通りなん
ですね……







仮に延命に
つながら
なかったと
しても……

がんをおとなしく
させるのも立派な
使い方じゃないの
かな……



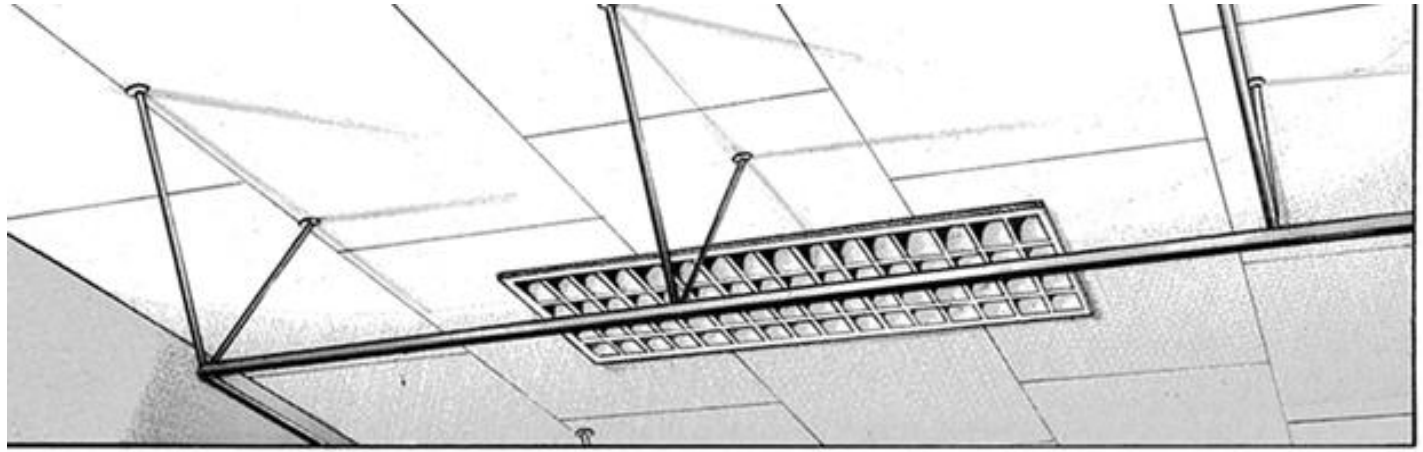
何が正しくて
何が間違ってる
かは分から
ない……

だけど
使い方を選ぶのは
患者自身だ……



それを教えて
くれたのは
……

君だよ





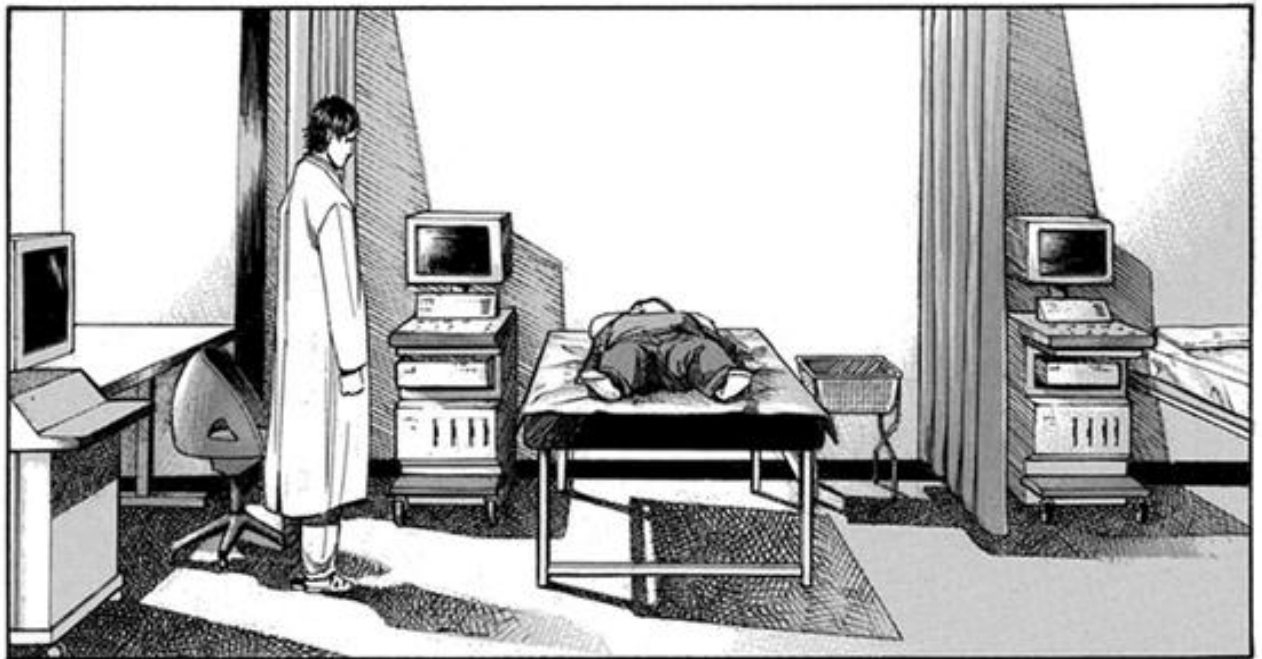
TS-1を
使う事で
……

辻本さんの
心が
満たされる
なら……



私は抗がん剤
というものを
認めるしかない
と思います……






辻本さん……











私……

あの人と
話せてよかった
……

第74話 普通の最期





お悔やみ
申し上げます
……



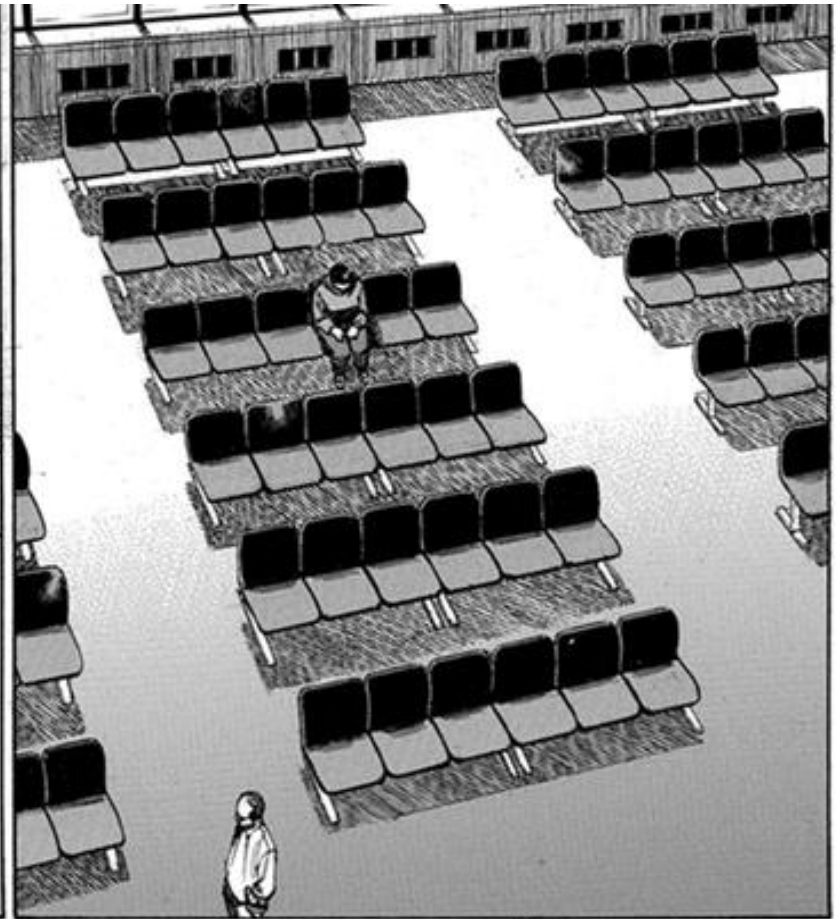
松村久男さん

7番診察室に
お入り下さい



山中麻子さん
相澤勉さん
横山健太郎さん

中待合室に
お入り下さい





私と話せて
よかったとまで
言ってくれた
のに……

その人の死が
悲しくないん
です……



あんまり
悲しくないん
です……



彼女の死を
知って
涙は出ました
……

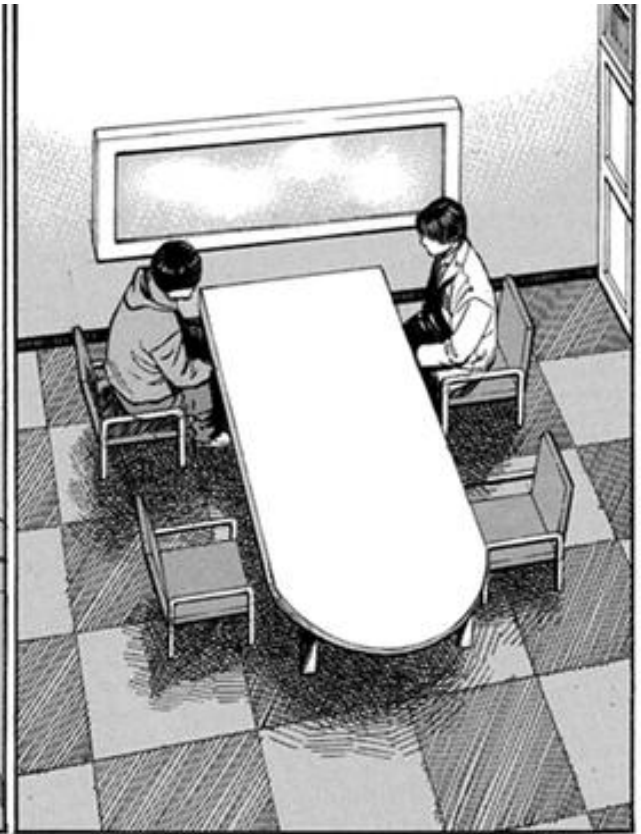


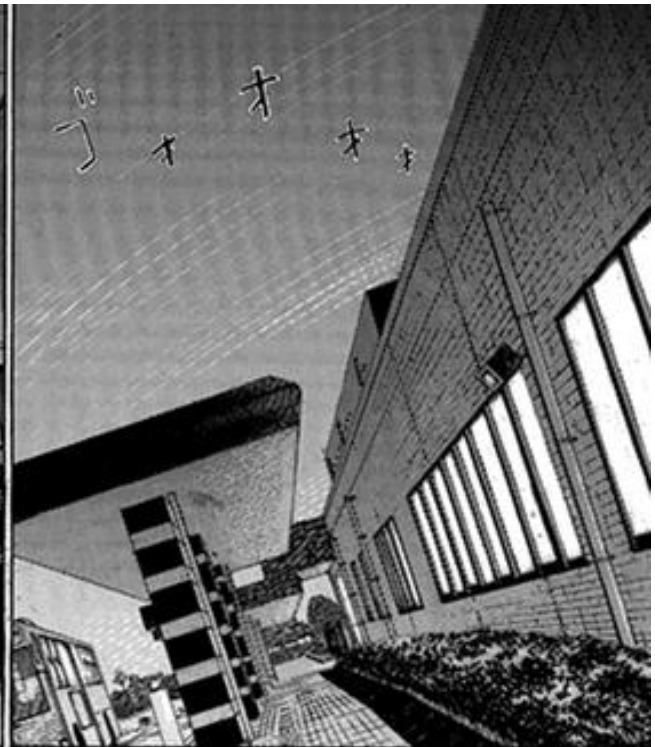
だけど
それは……

彼女の死が
悲しかったから
出たんじゃ
ありません……



ただ
ショックを受けて
怖くなっただけ
なんです……







セーション
……？



とりあえず
セーション
しといてくれる
？



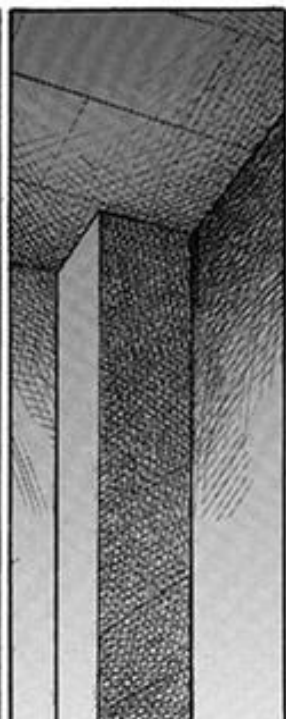
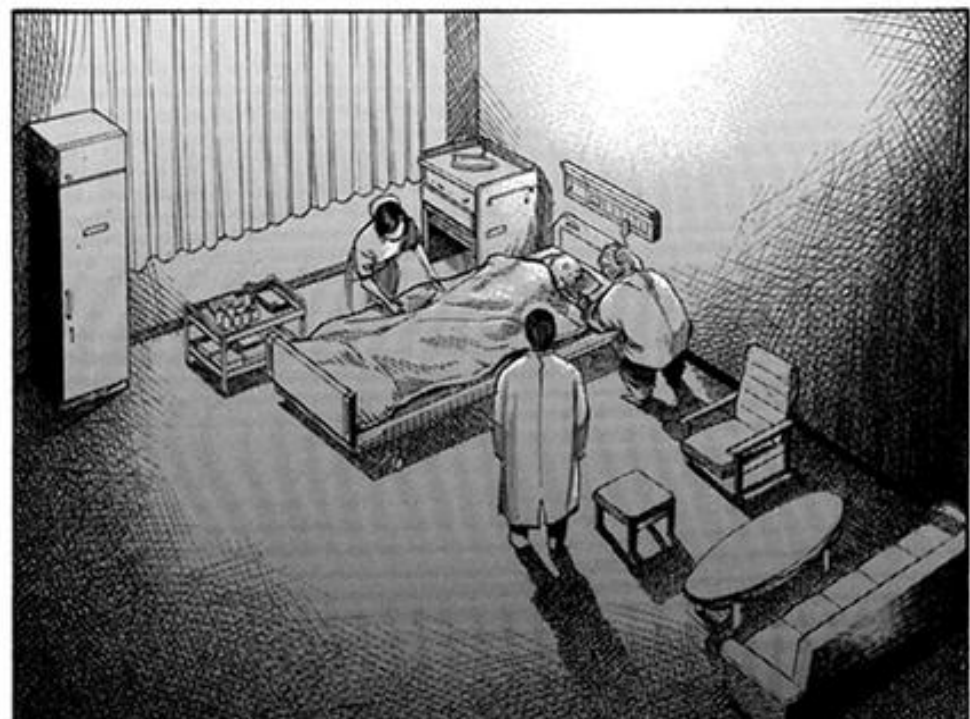
え？
無理だよ

夜なんだから
……



だから
全身麻酔薬
ドルミカムか何か
ドカッと入れて
さ……

意識レベルを
落とすと言って
言ってるの！





先生……

眠らせて
やって下さい
……!!



うづう



お願い
です……

もう助かんない
ならどうしたって
いいから楽にして
やって下さい……



これが
がんで死ぬ
という事
なんだ……



うづう



先生……

うさみ
先生を
呼びましょうか
……?

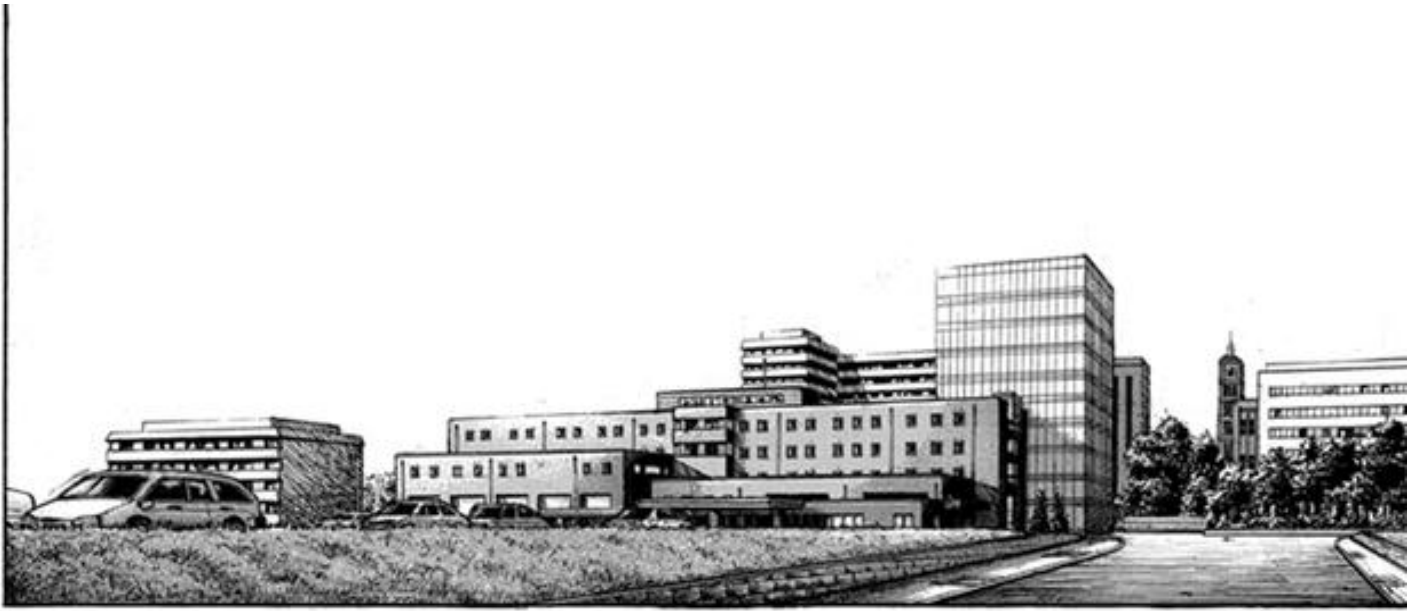


結局
僕は……

誰も救えや
なんてしない
んだ……!!

うづう





病院だから
……

ある意味
人が死ぬのは
当たり前です
……

感覚が
鈍くなって
るんでしょ
うか
……?
……?

内海さんが
亡くなったとき
だって……

僕は
いつものように
仕事をして……
食べたり寝たり
しました……



辻本さんに
したって……

君に
助けて欲しくて
本音を打ち明けた
わけじゃない……



医者が
患者を救おう
なんて……

そもそも
おこがましい事
なのかも
しれないな……



言っても
どうにも
ならないと
分かっていて
……

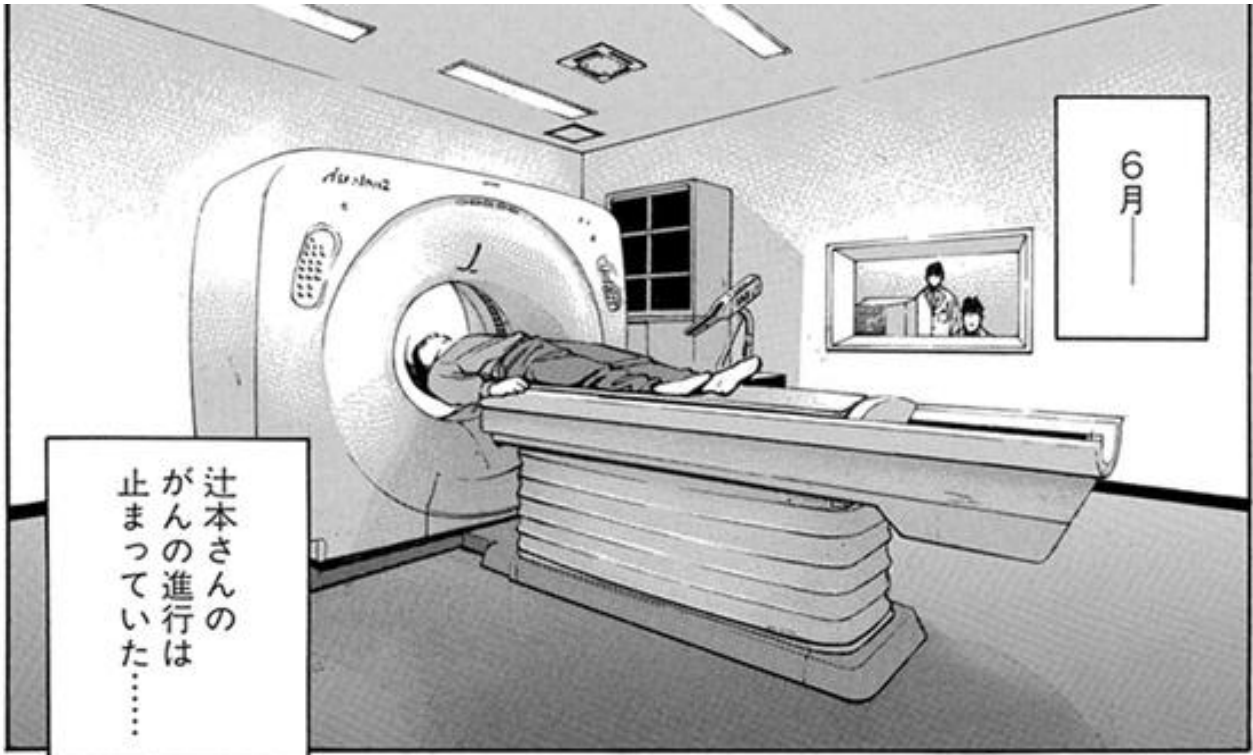
それでも
君に言ったんじゃ
ないのかな……



僕や宇佐美に
ではなく……

君に……





6月
1

辻本さんの
がんの進行は
止まっていた……



これが
TS-1の
効果による
ものか……

それとも
もともと進行の
止まる時期だったの
かは分からない……



だけど4月の
時点で告げられた
余命一カ月半と
いう期間は……

すでに過ぎて
いた――

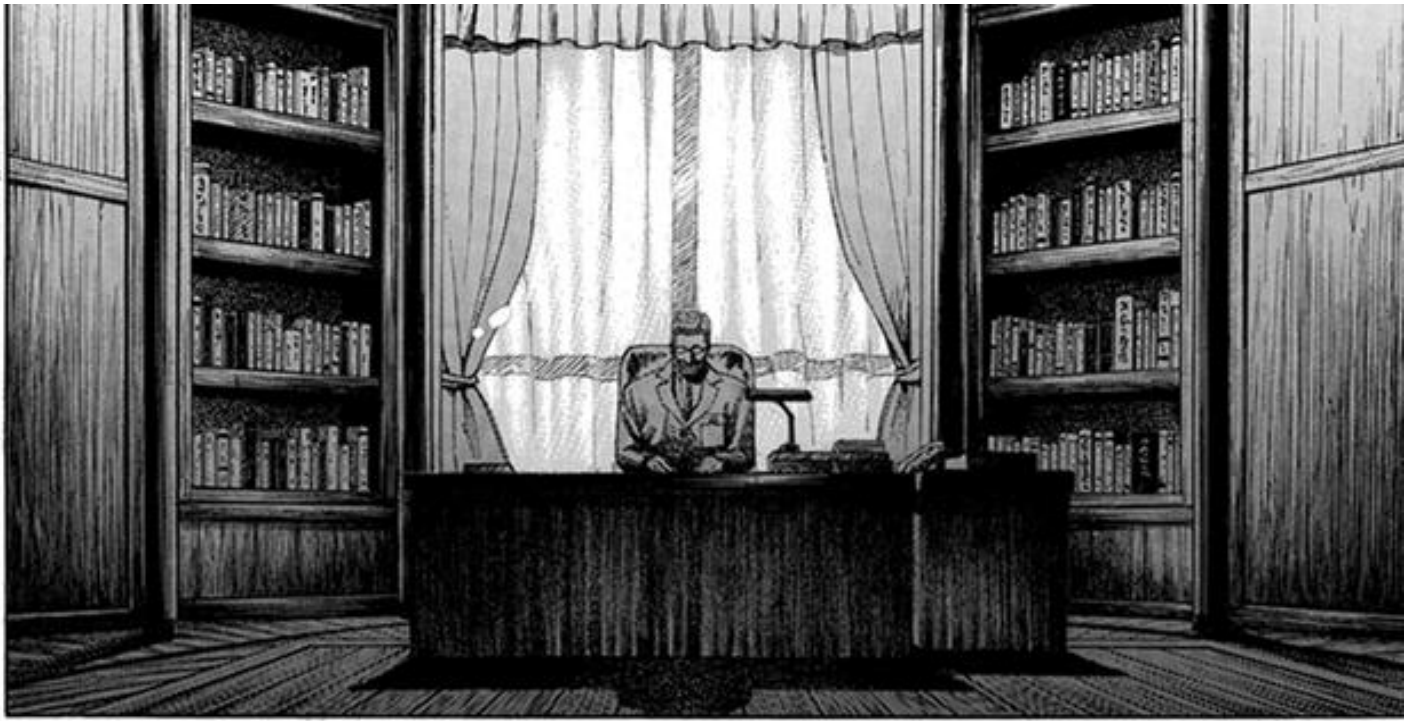


……
みながわ
皆川さん



今日はちょっと
忙しいの……















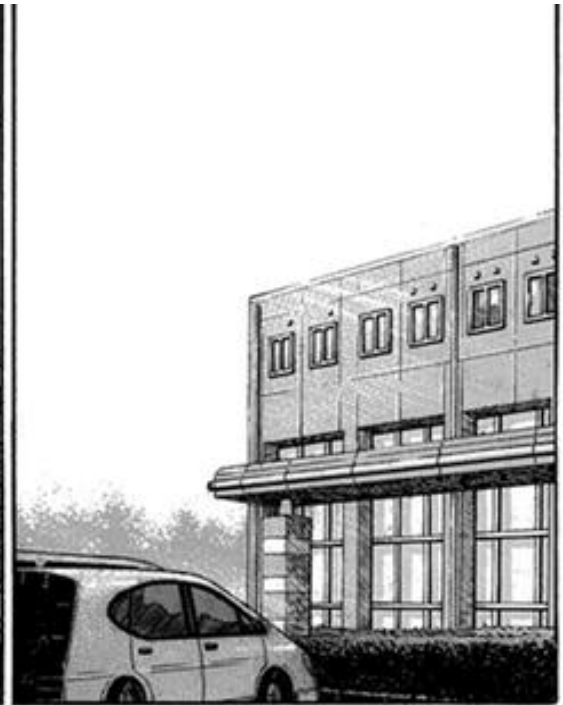




第75話 命果てる日まで

病院に
通うのを……

やめさせて
下さい……!!







余命1ヵ月半と
言われた人が
3ヵ月4ヵ月と
生きる事など

全く
珍しい事では
ありません



あなたが
統計より
長く生きたのが
TS-1の効果に
よるものか……

何もしなくても
もともと今まで
生きられたのかは
誰にも判断できま
せん……



それを保険で
使えるように
するために……

先生が法を犯す
事になるなんて
知りません
でした……



私は未承認薬が
どれほど
お金のかかる物か
知りませんでした
……





それでも
私は……

生きたいと
思いました
……



胸水が
あがってきた
となれば……

もう……
時間はそれほど
ありません……



どうして
生きたかった
のか……

ずっと
考えていました
……





……
ただどそれは
違います……



……
宇佐美先生は
私が
内海さんの孤独を
救ってやったと
おっしゃいました
……



……
内海さんが
亡くなった時
……



彼女を
孤独から
救ったもの
は……

……
彼女自身です
……



……
彼女は
自らの力で
私に出会い
……

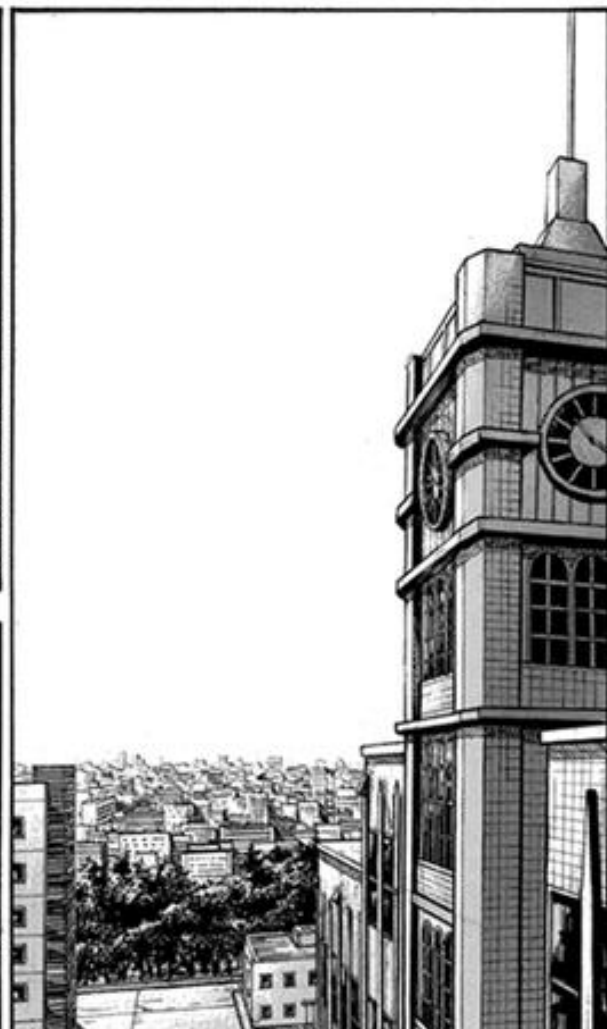
……
私の中に
自分を残して
いったんだと
思います……



子供が夏休み
なんです……















何にも
なくても
連絡を下さい
……



少しでも
不安な事が
あったら
電話を下さい
……



TS-1と
モルヒネは
1週間分出して
あります……

無くなった時は
ちゃんと病院へ
行って下さいね
……



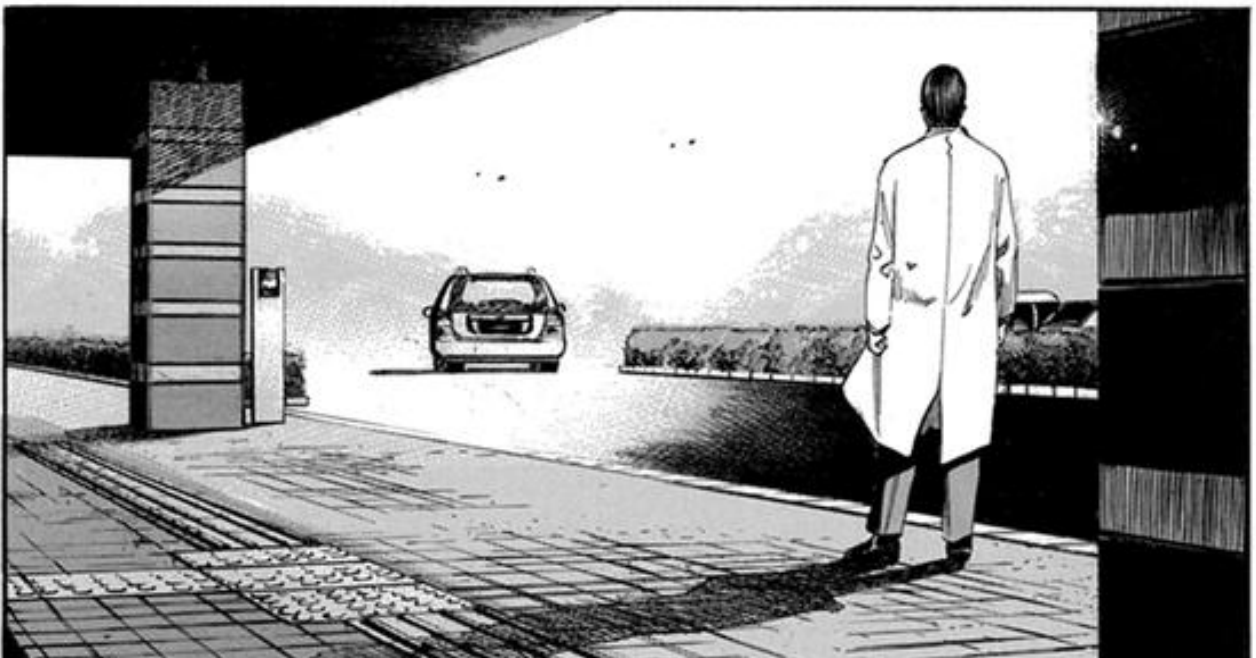
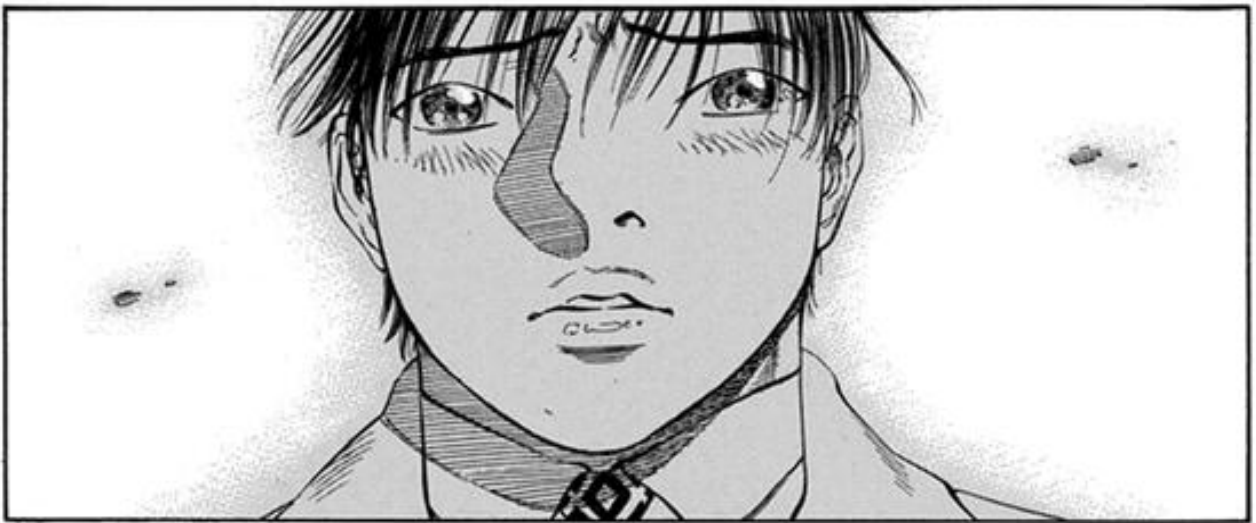
何でも
いいから
連絡を下さい
……

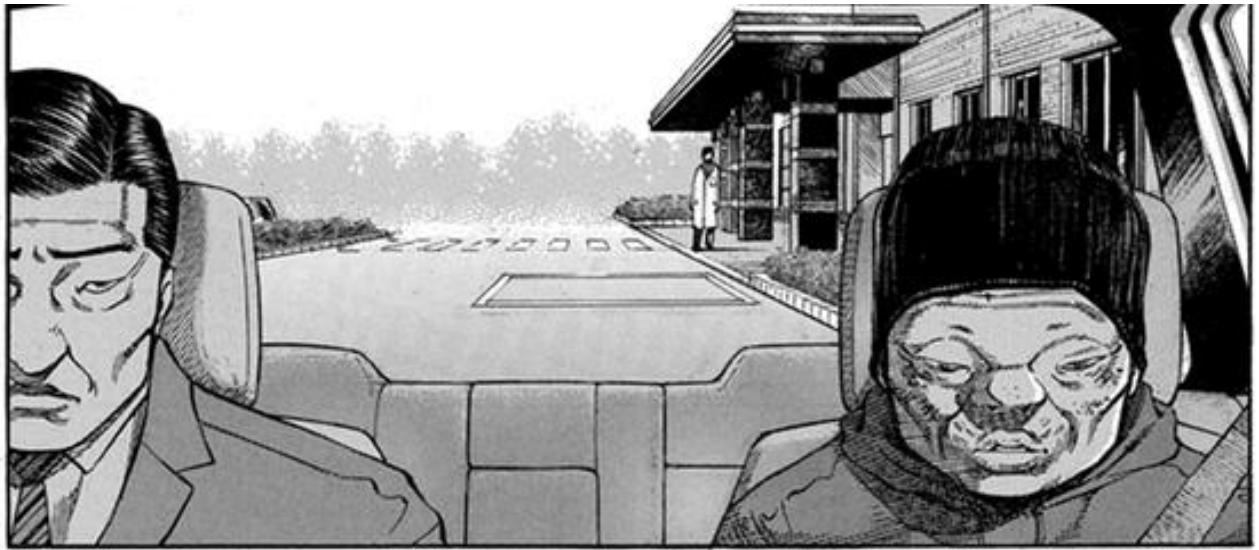


先生……



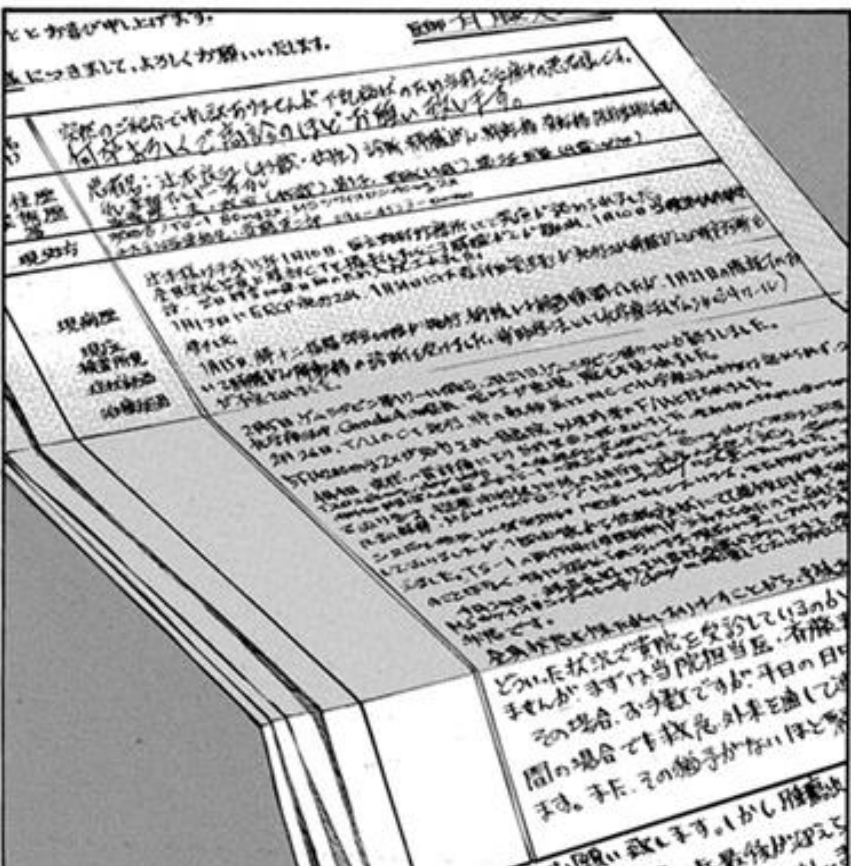
トル
トル
トル





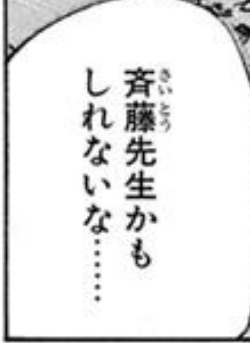
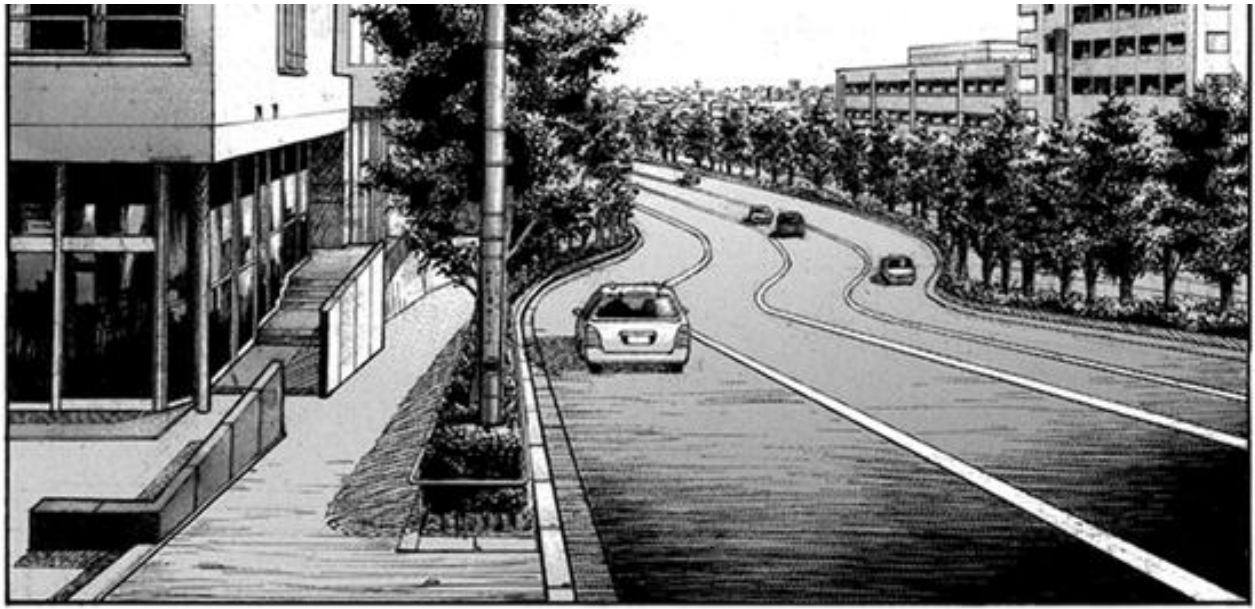


紹介状か
……？



見て
あなた……

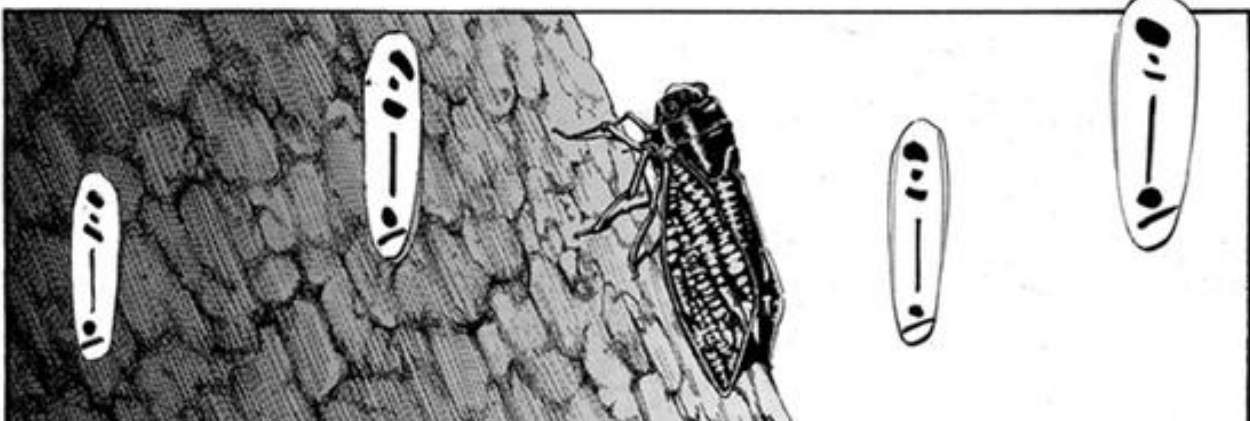
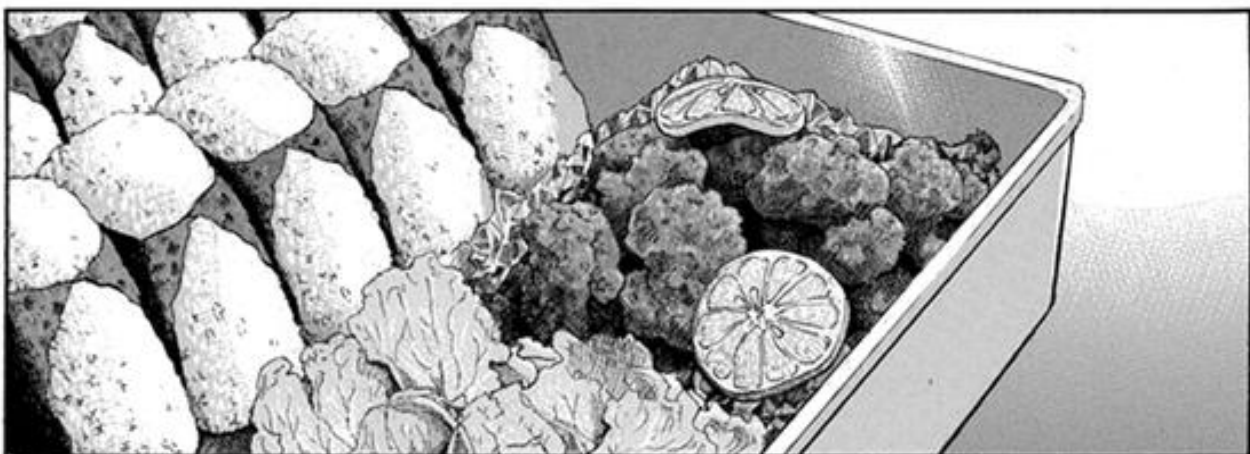
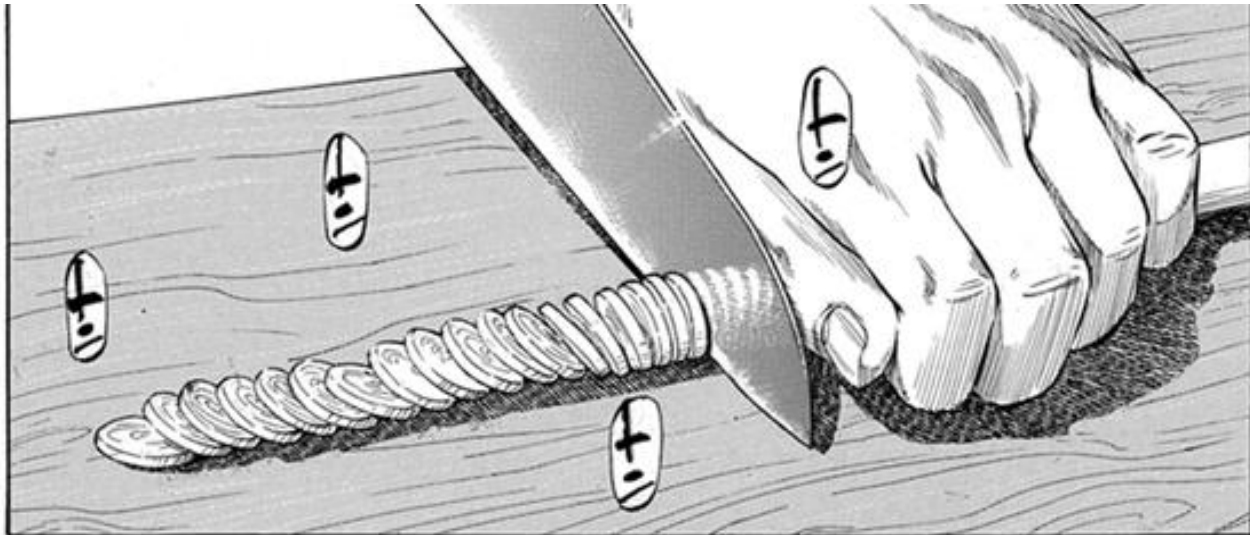
こんなに
細かい字で
びっしり……





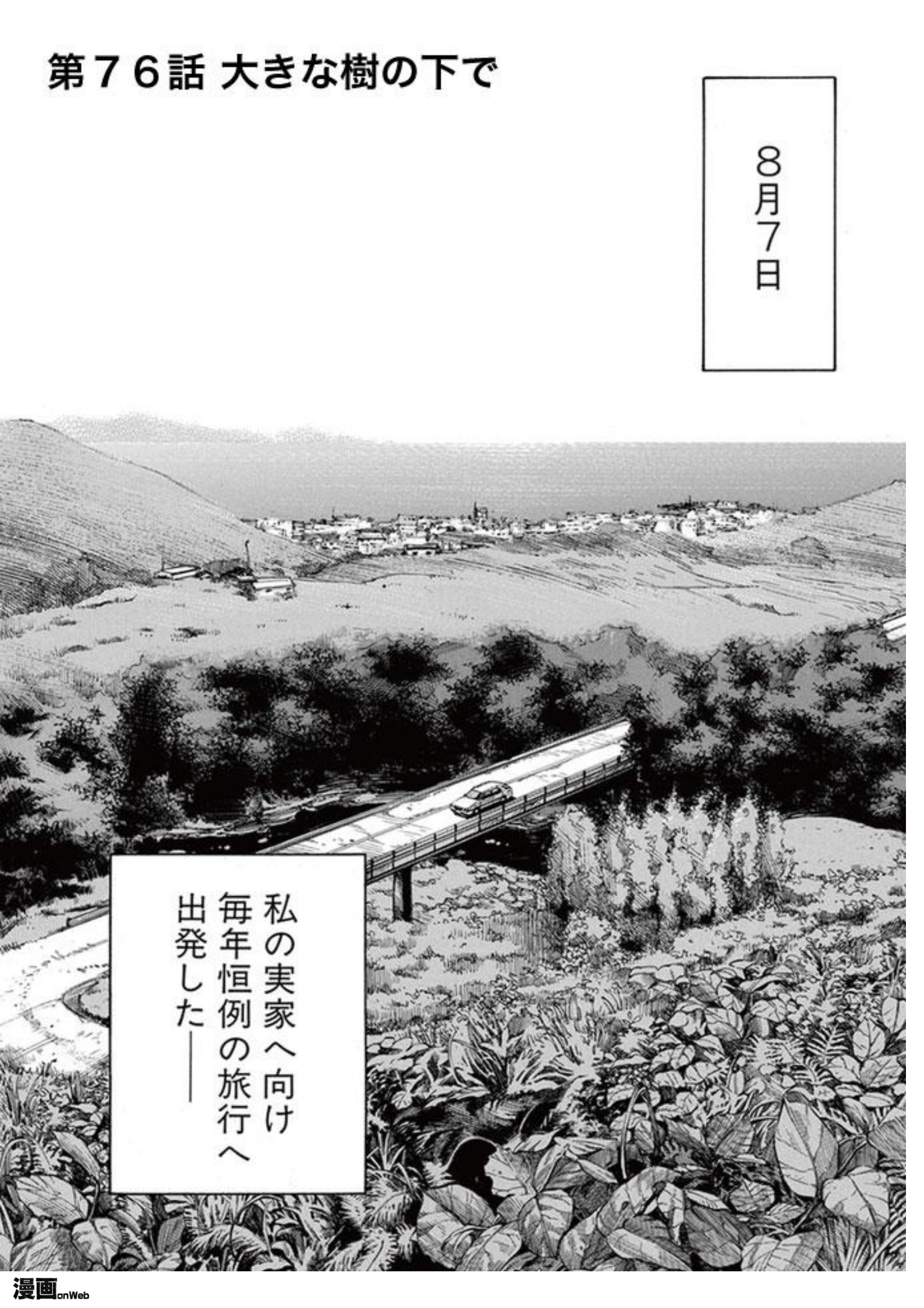






第76話 大きな樹の下で

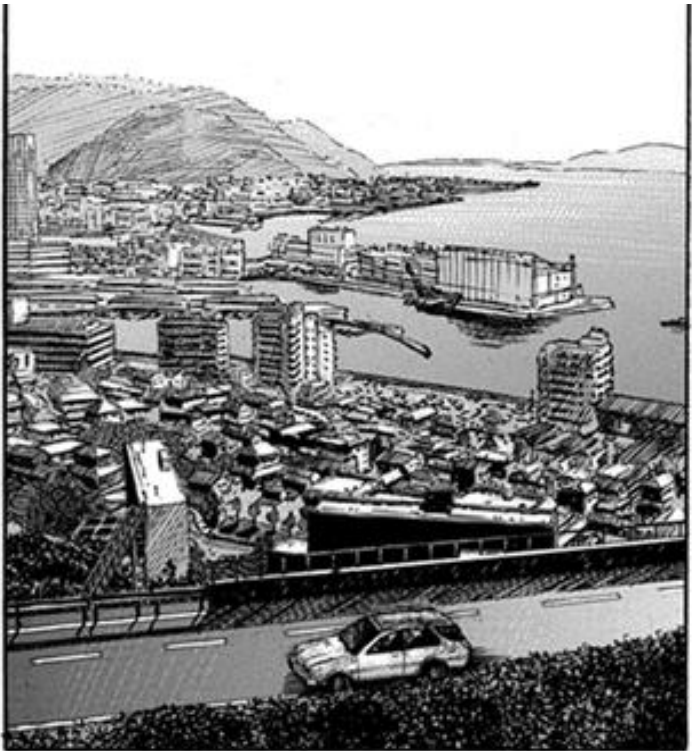
8月7日

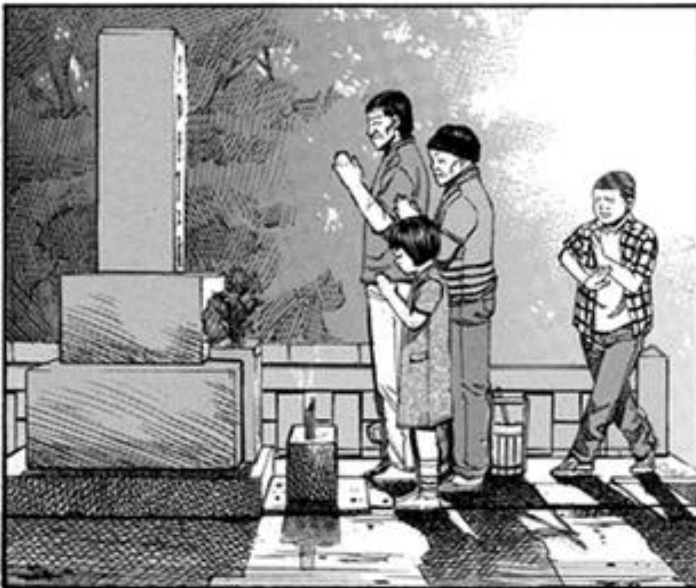


私の実家へ向け
毎年恒例の旅行へ
出発した——



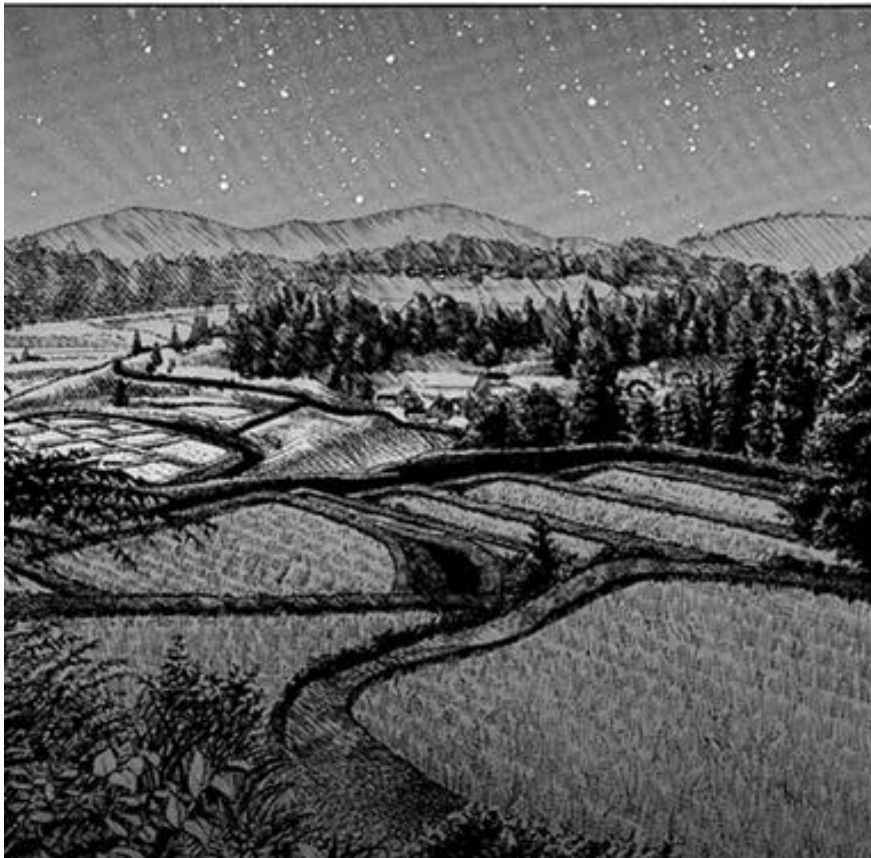
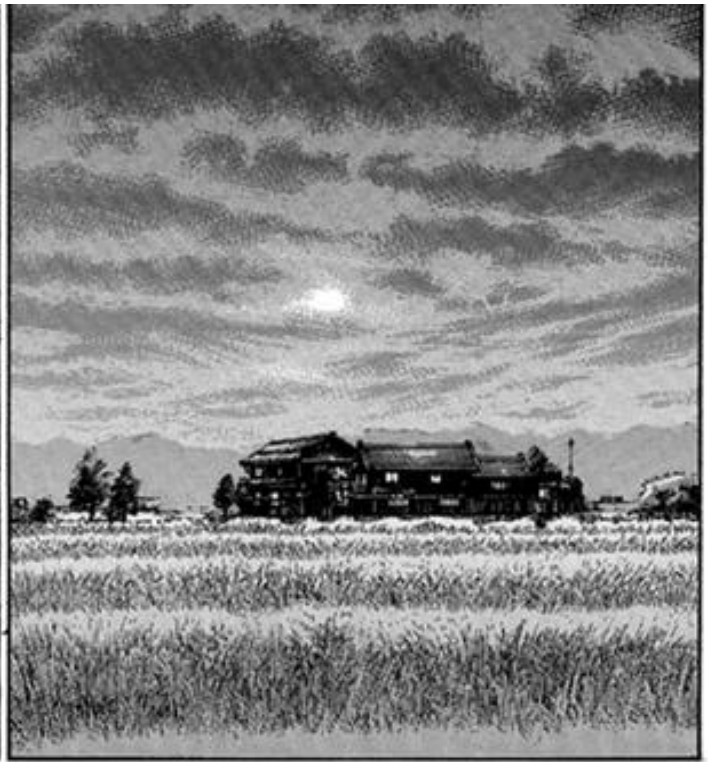
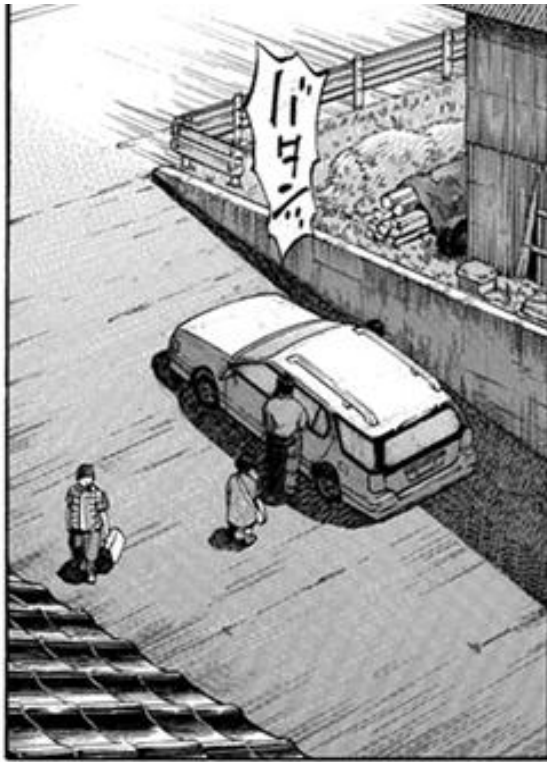


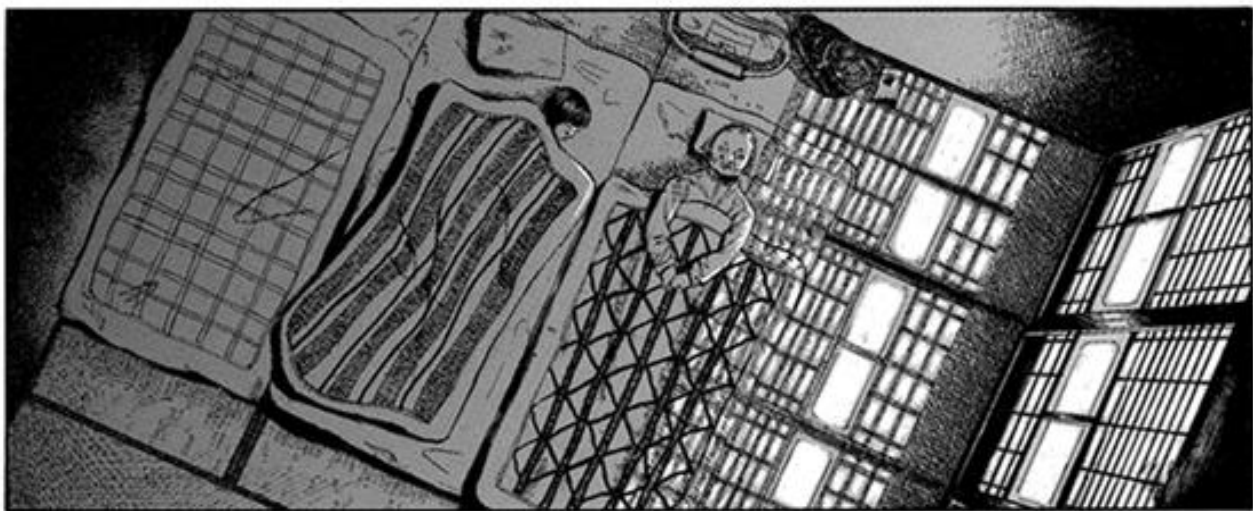


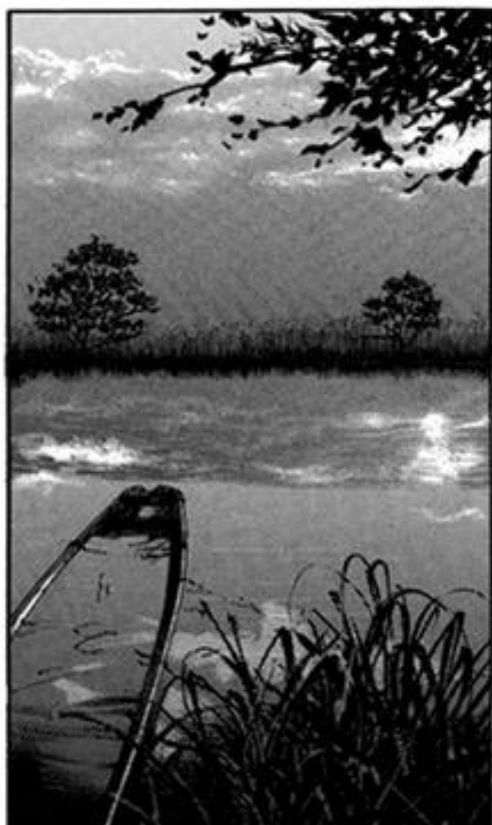


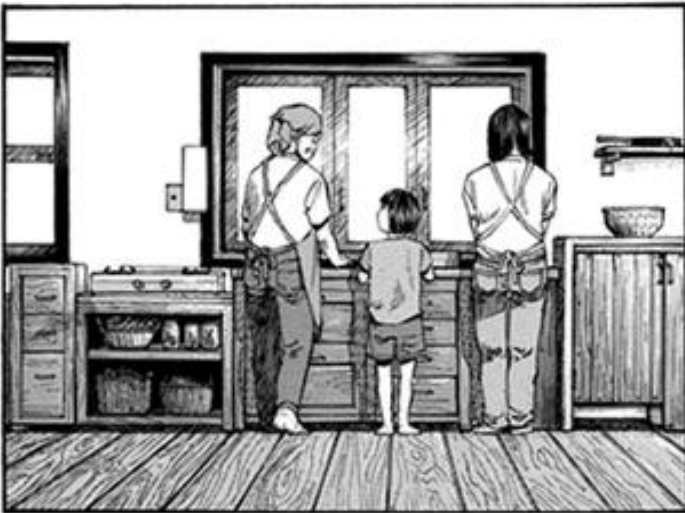
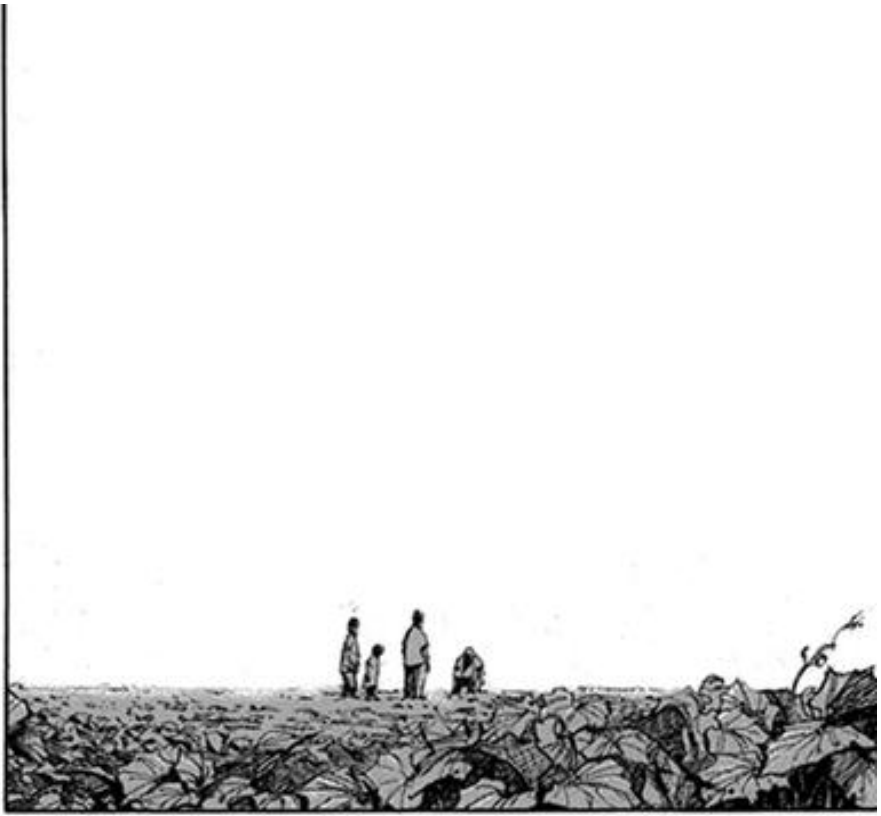
もう夜になっちゃうよ

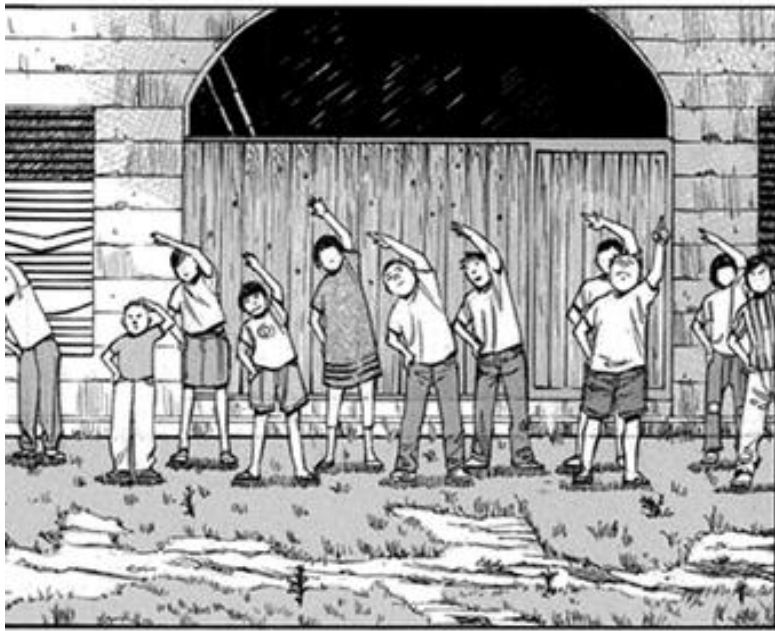
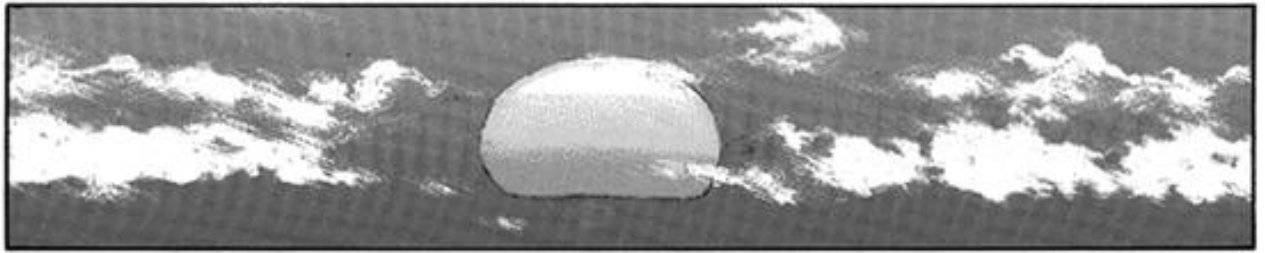
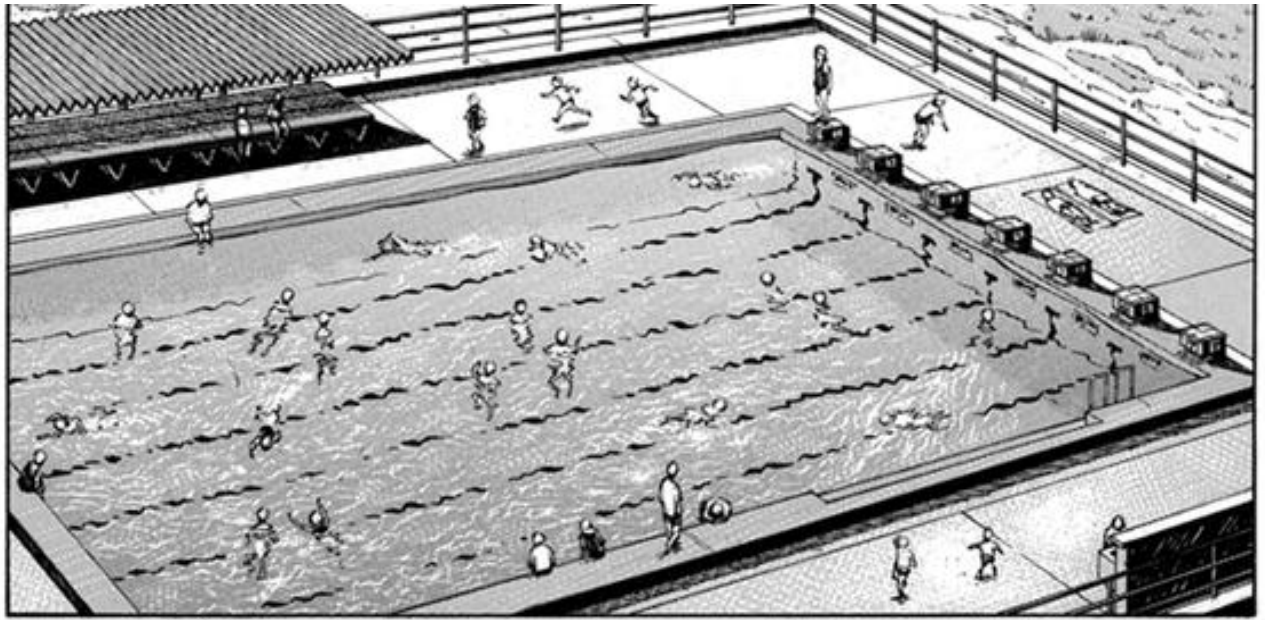










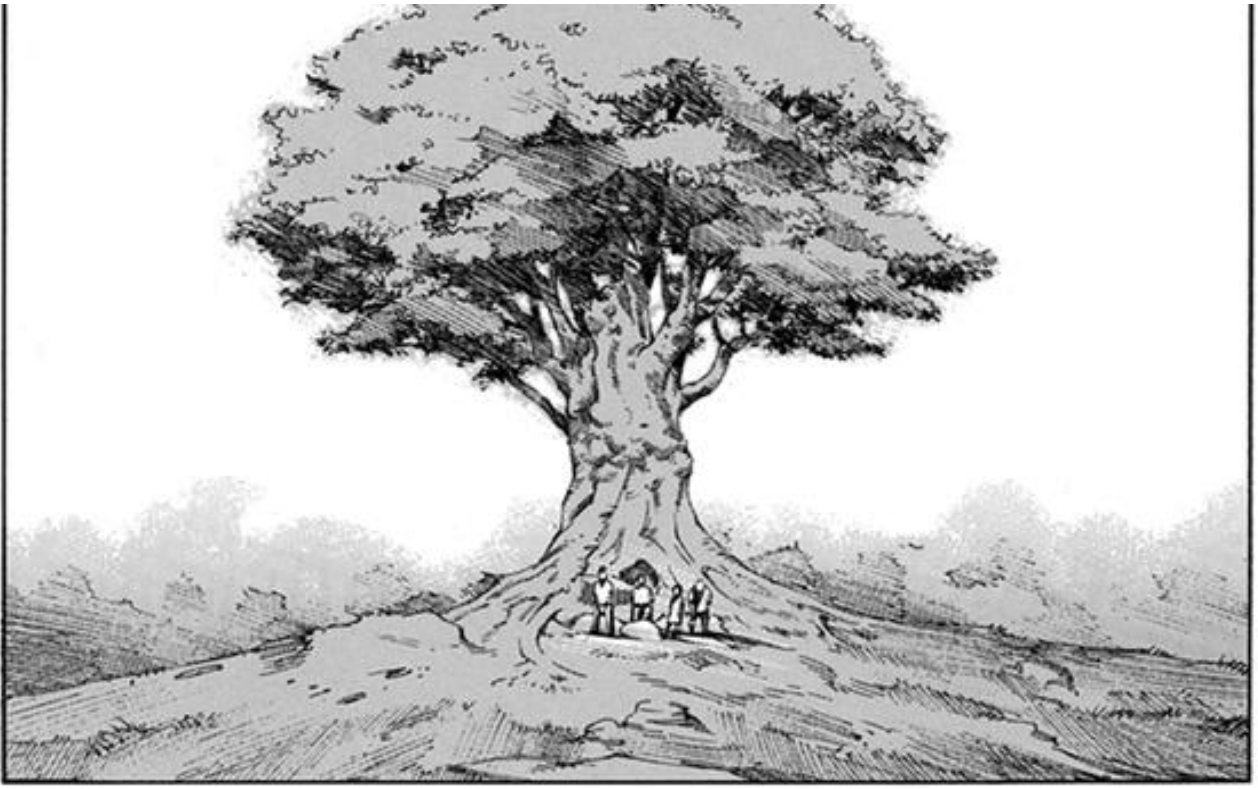






























お母さん……

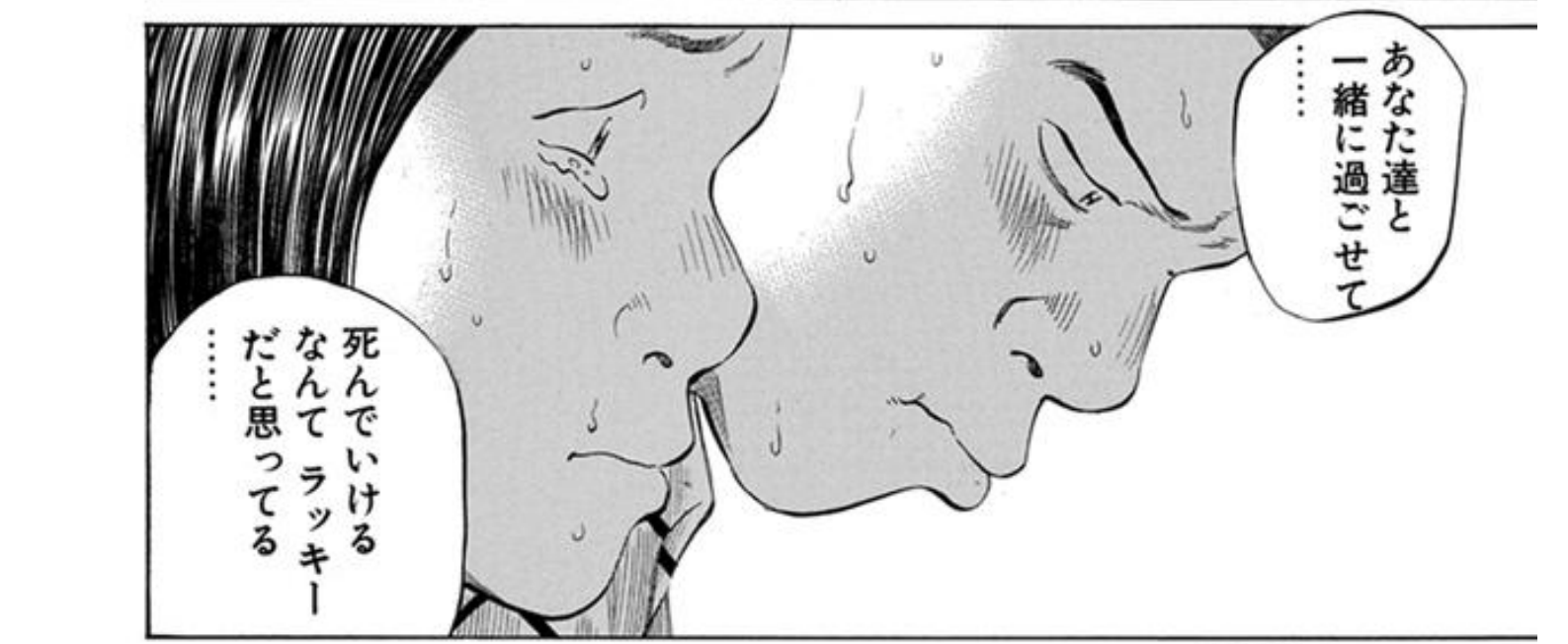
死ぬの……

第77話 約束




お母さん……

何も後悔なんか
してない……



あなた達と
一緒に過ごせて
……

死んでいける
なんてラッキー
だと思ってる
……




だから自分が
死ぬ事なんて
全然悲しくないの
……









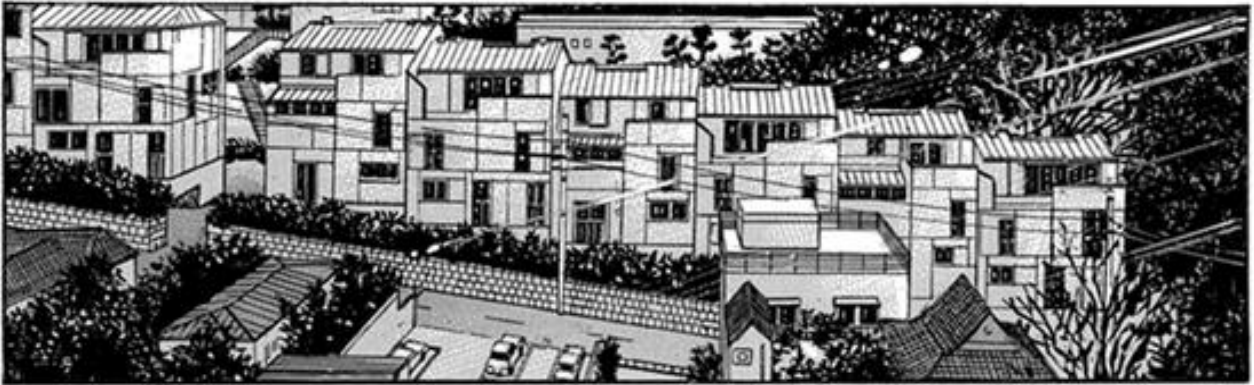
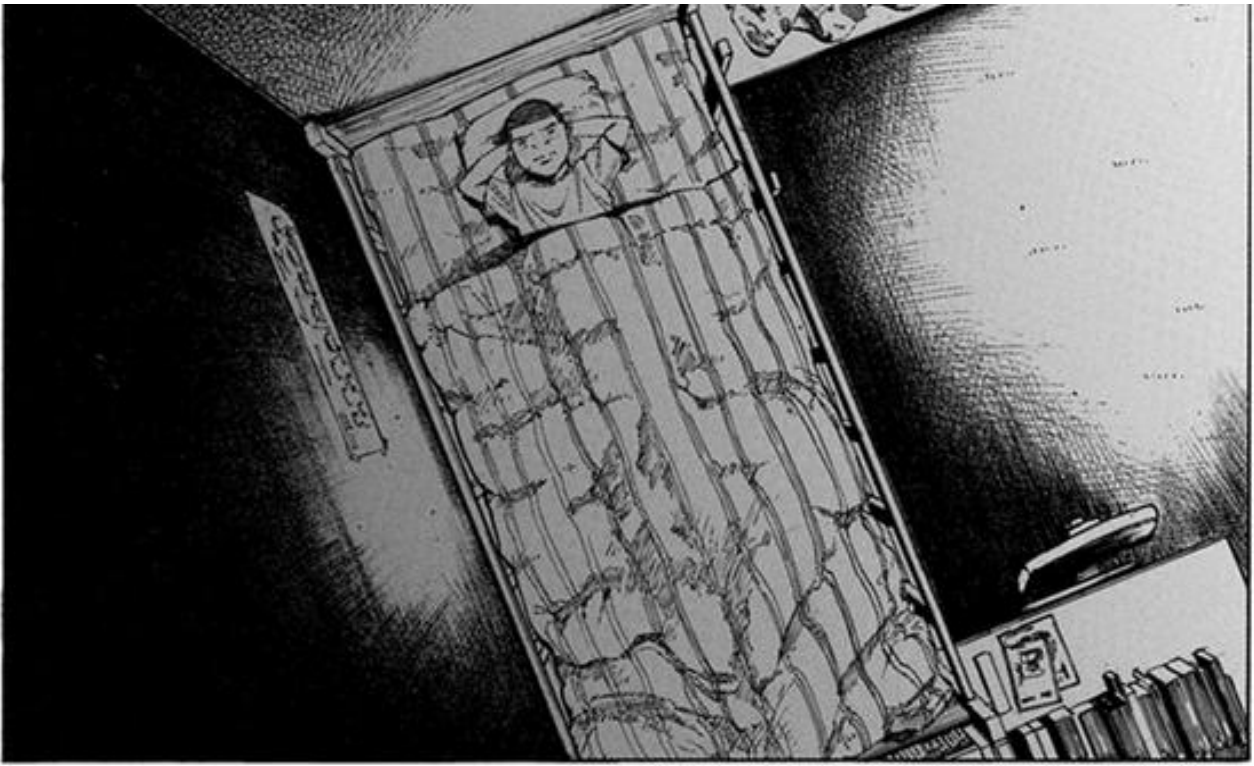
私がいなく
なつても……



同じ毎日を
過ごして……

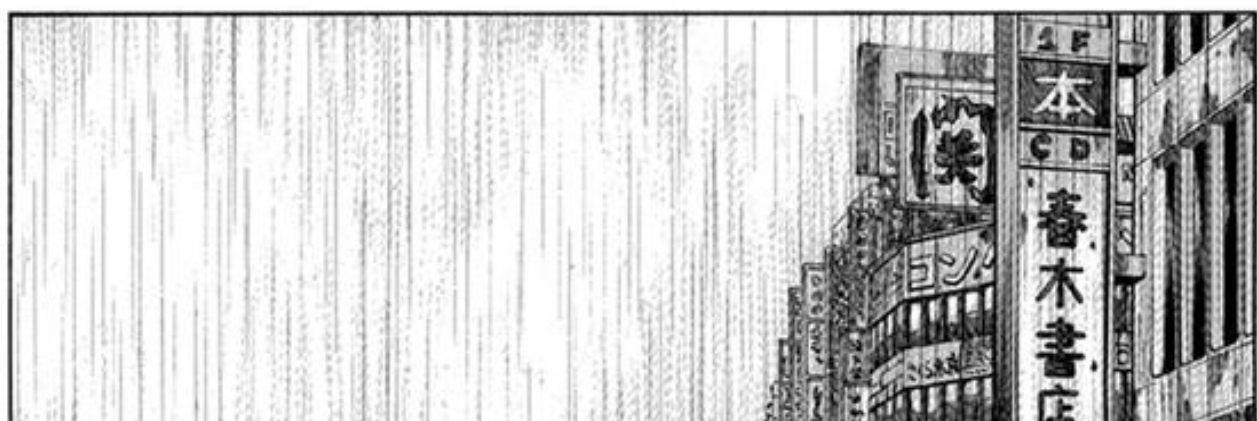


















死なない
でよ……



死なない
でよ……

何回だって
謝るから
……













第78話 心のすべて

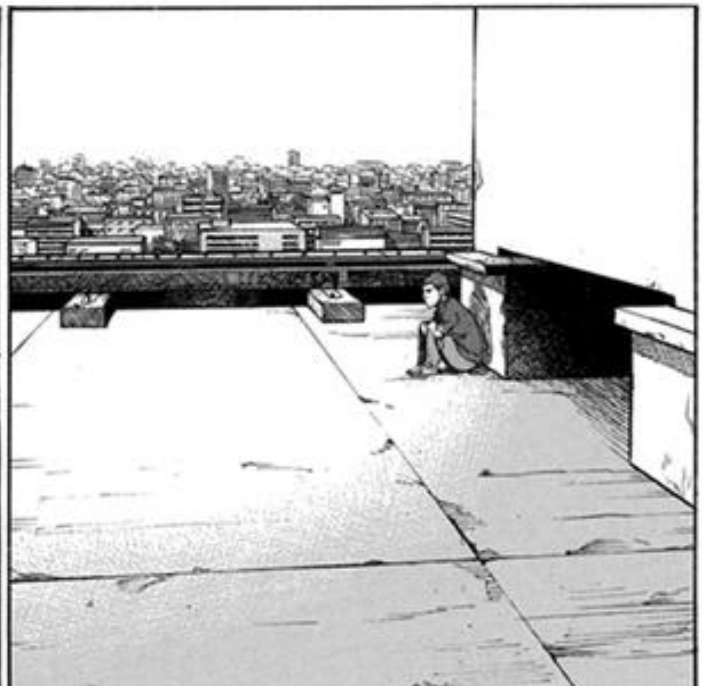


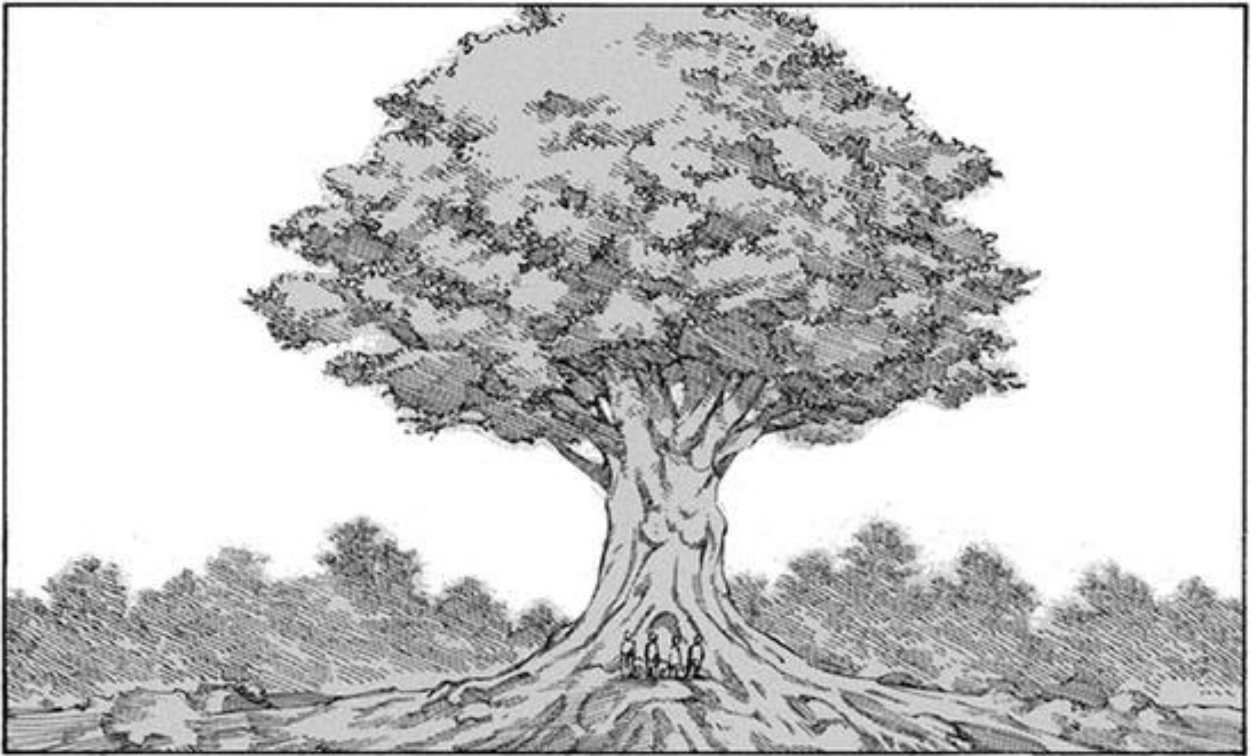






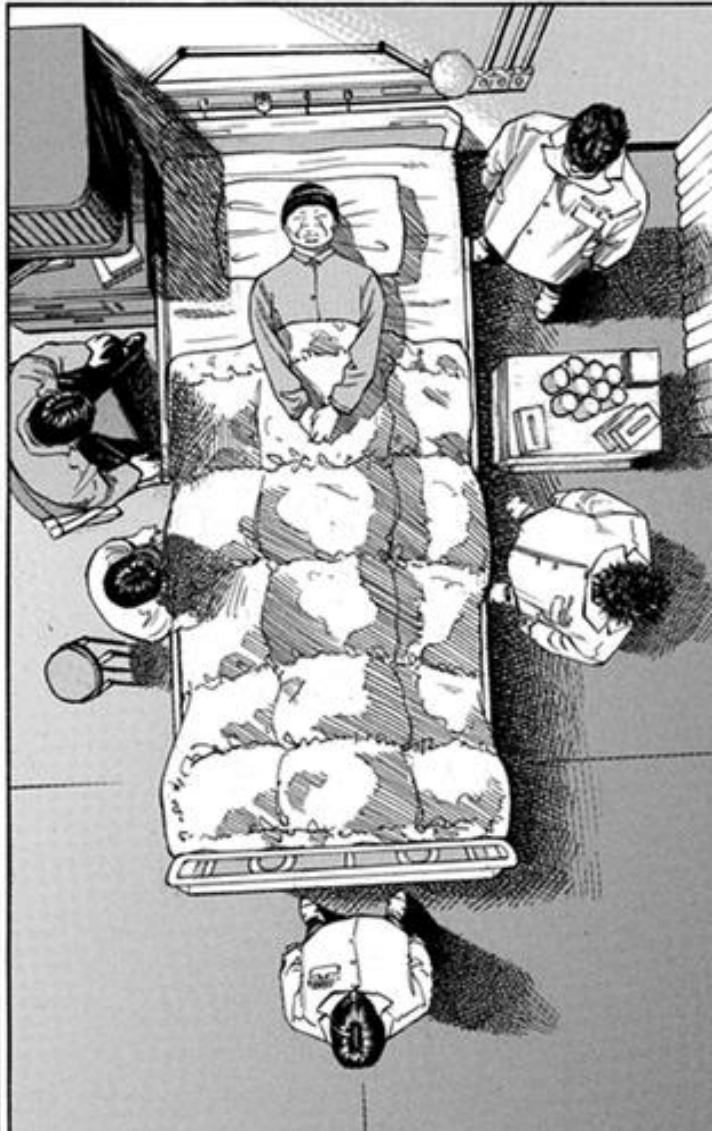
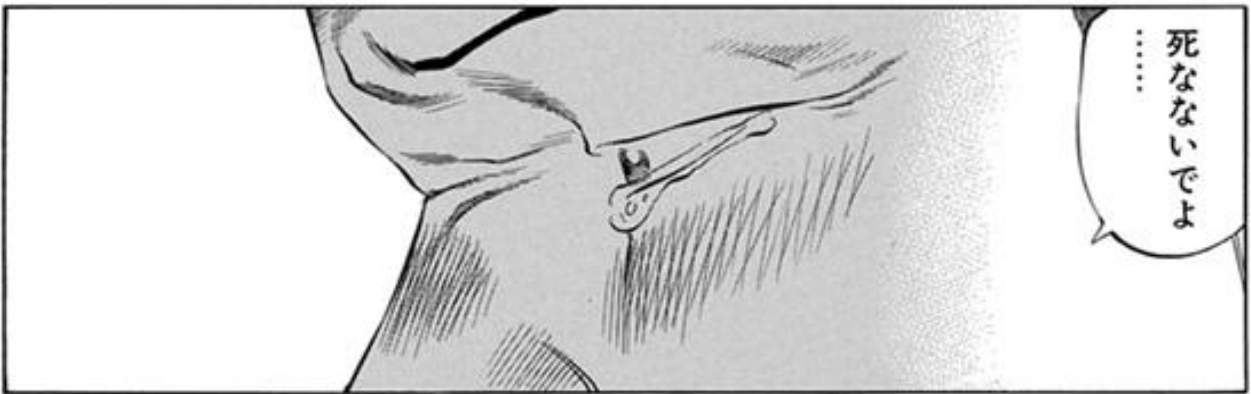


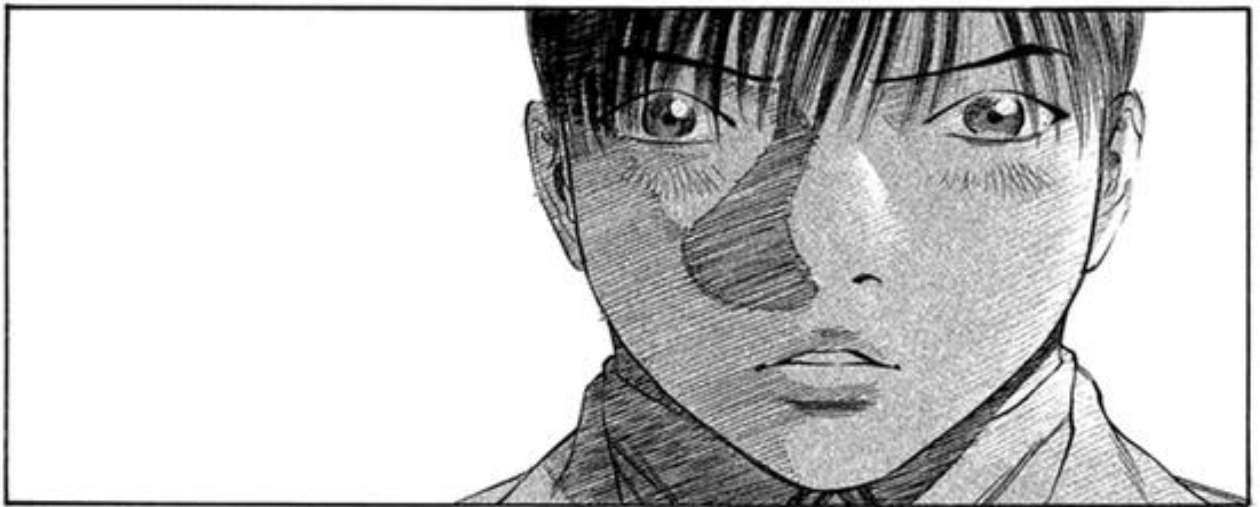




約束して
.....

お母さんが
死んでも決して
悲しまないで
.....



















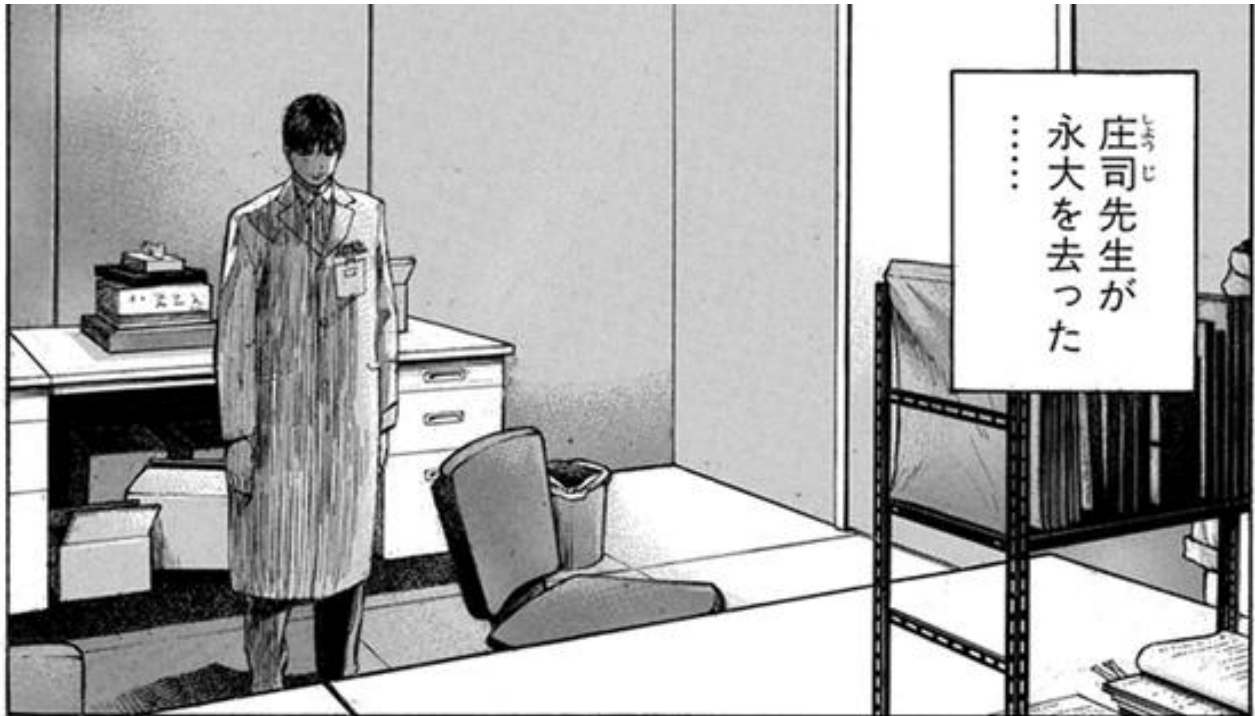
その日の
夕方

辻本さんは
亡くなった

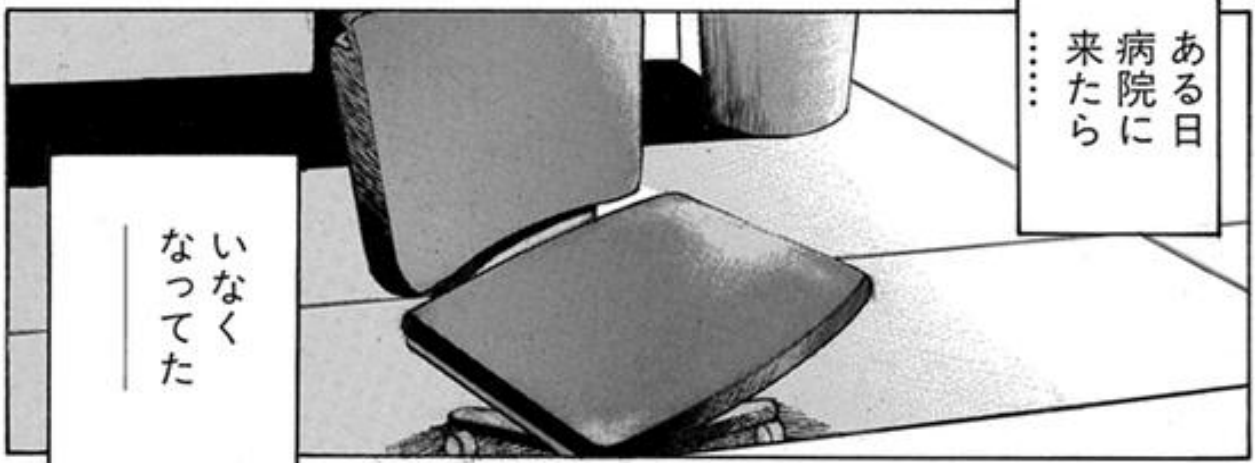








……
……
……
庄司先生が
永大を去った



……
……
……
ある日
病院に
来たら

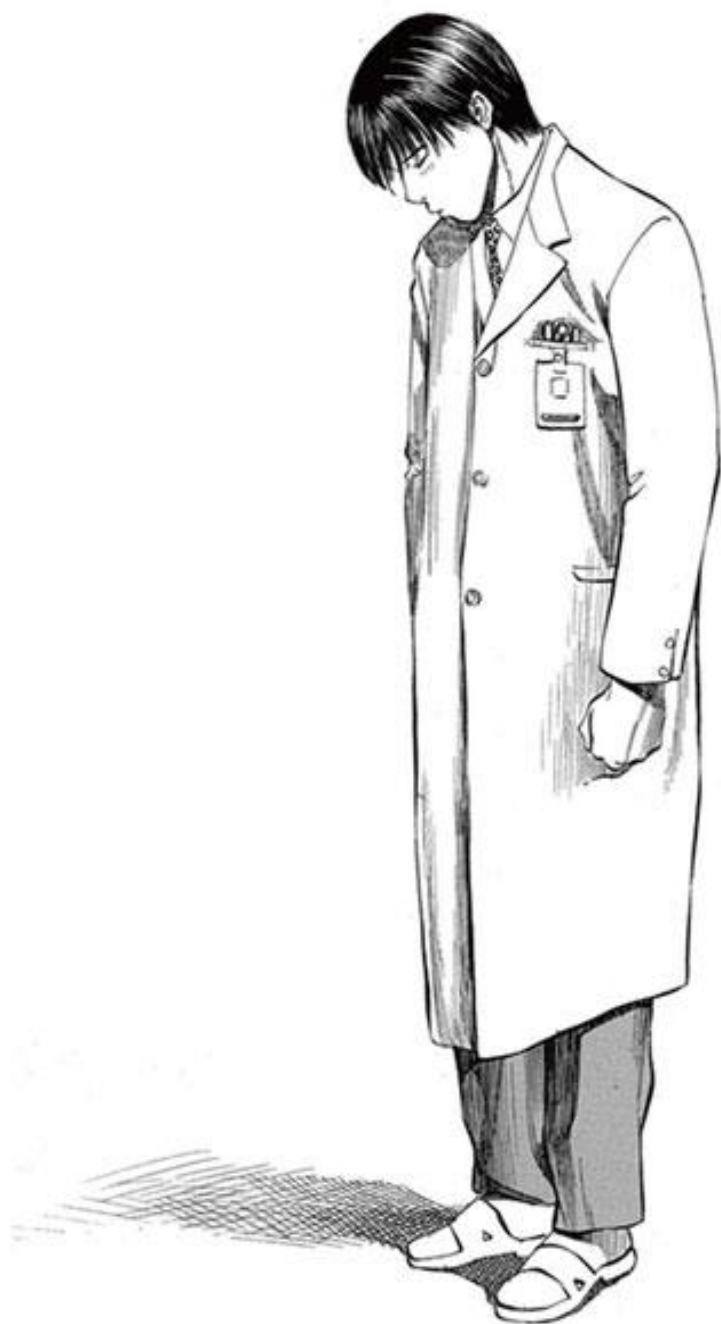
いなく
なつた



……
……
……
辻本さんに
未承認薬を
投与するため
カルテを改ざん
した事を……

……
……
……
誰かが
リークした

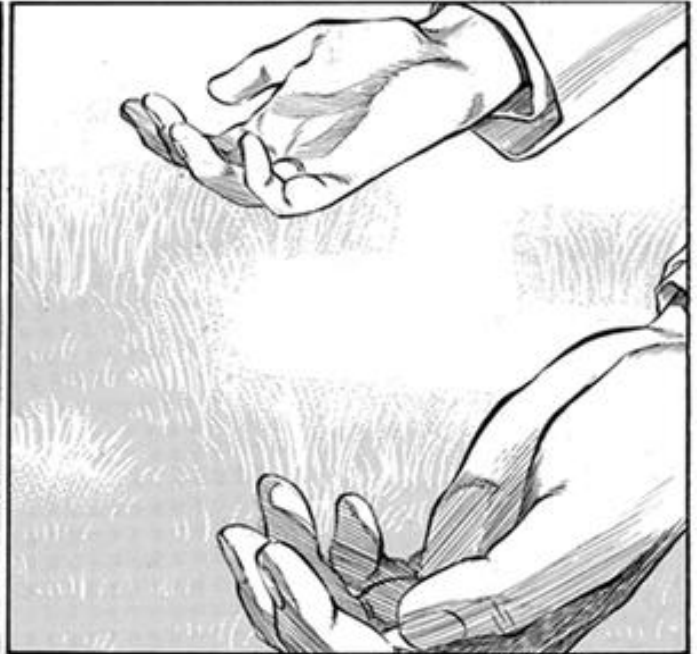
第79話 若者たち







その手は
無力か……？



いつかは
再び未承認薬を
使って 永大を
追われていたかも
しれない……

……
庄司だって
……



君がいても
いなくても……

辻本さんは
どのみち
亡くなった
だろう……



無力なのか
……？









その一方で
……

完治が望めない
末期がん患者への
ケアは十分とは
言えません……



現在の
がん治療は
手術や抗がん剤と
いった……

患者さんを
生かすための
治療が主流です
……



僕は嫌です
……



心も体も
辛い時に
ひとりぼっちに
されるのも……

そういう
患者さんを
独りにする事も
……





緩和ケア科を
永大に開設
させて下さい
……



医者が最後まで
寄りそう医療
です……

緩和ケアとは
完治が望めない
患者さんの
心と体の痛みを
取るため……



……
ただ
その治療は
……

患者さんと
その家族に
大きな力を
与える事ができる
はず……



緩和ケアと
いうものが
あっても
なくても……

患者さんは
結局亡くなり
ます……



僕は
がんで亡くなる
人をおかわいそう
だと思いません
……



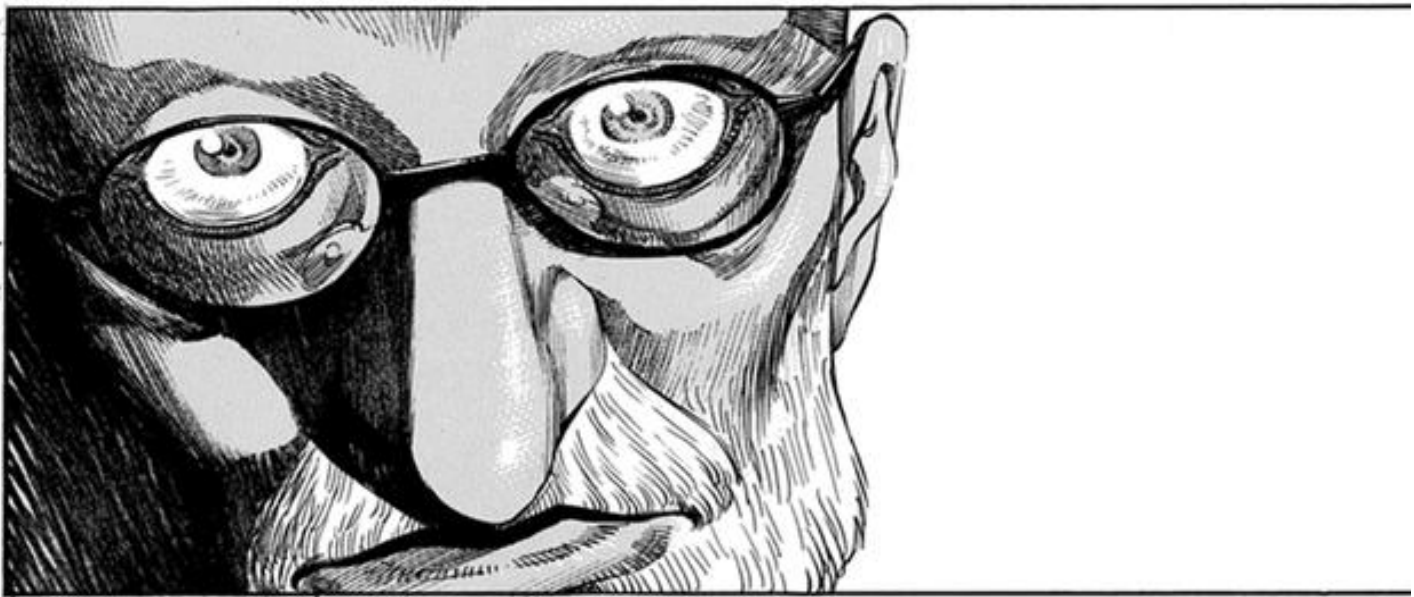
もしも
きちんとした
終末期のケアを
受けられるなら
……

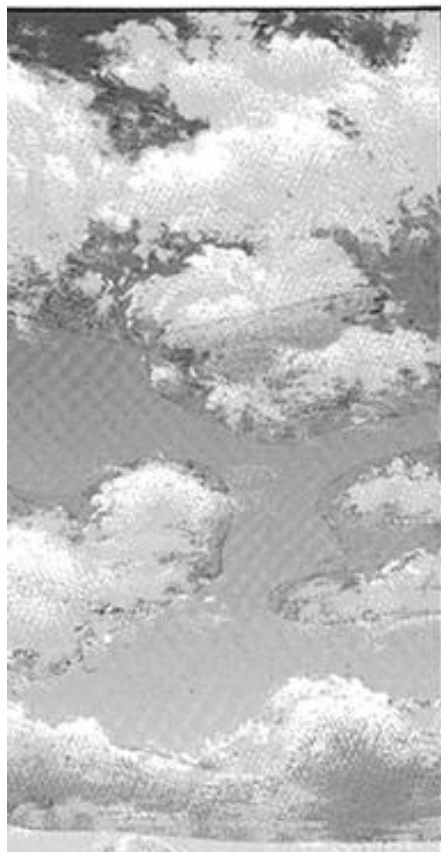
その死は
決して不幸では
ありません
……



がんは
死と向き合い
……

残していく
人達に別れを
告げる時間の
ある病です
……







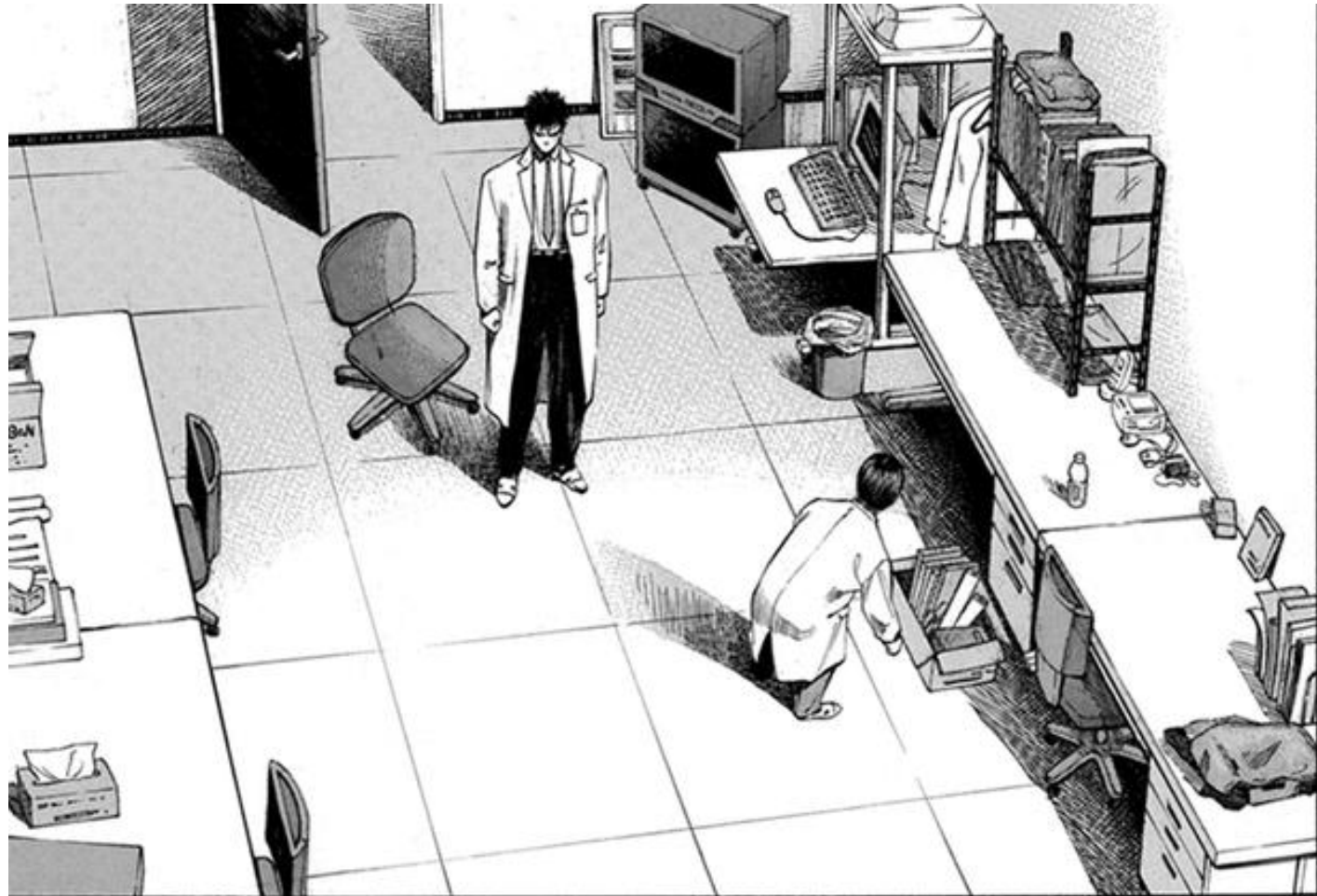
すべては
終わって
しまった……



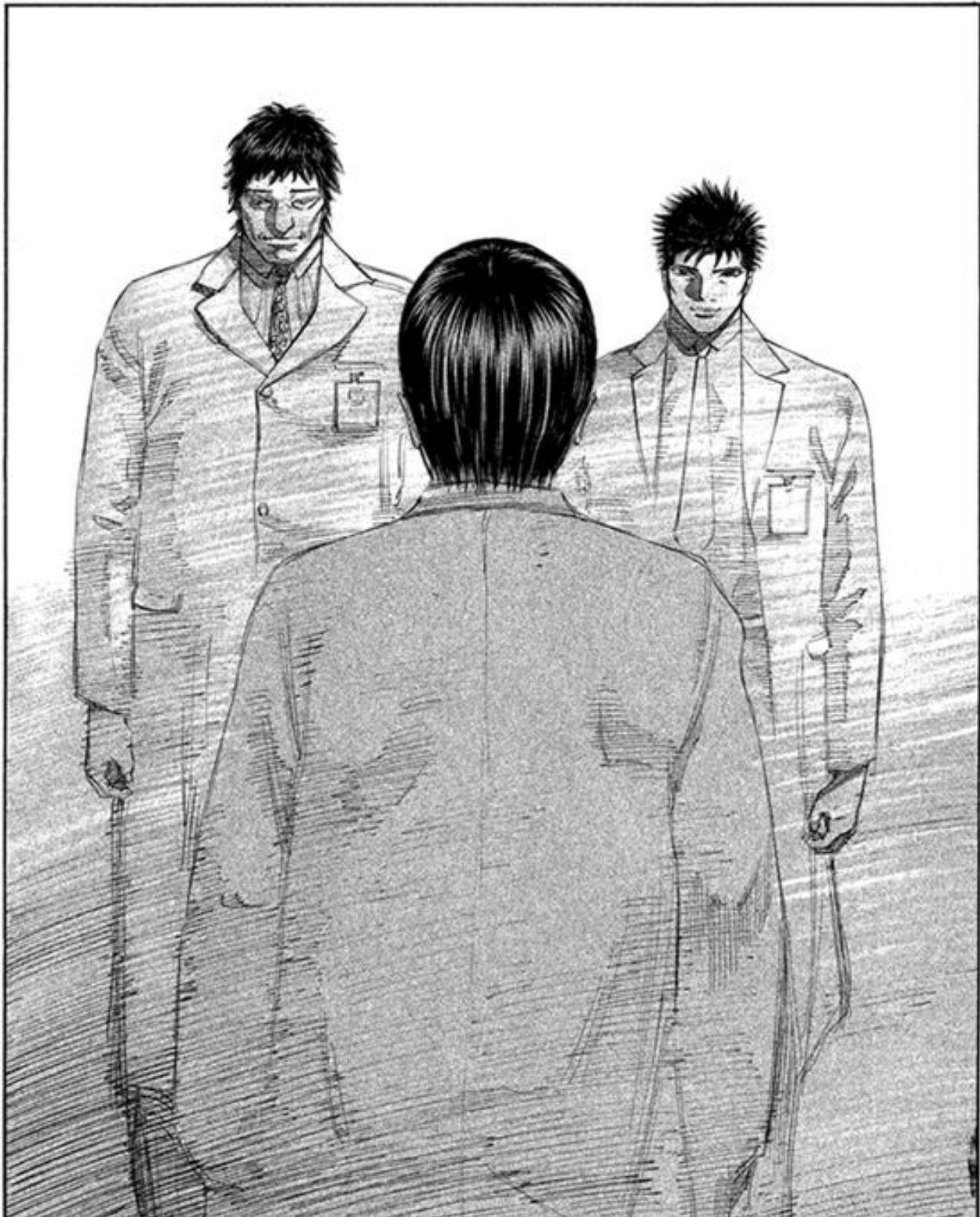
僕は
この部屋を
出て行く

8月31日

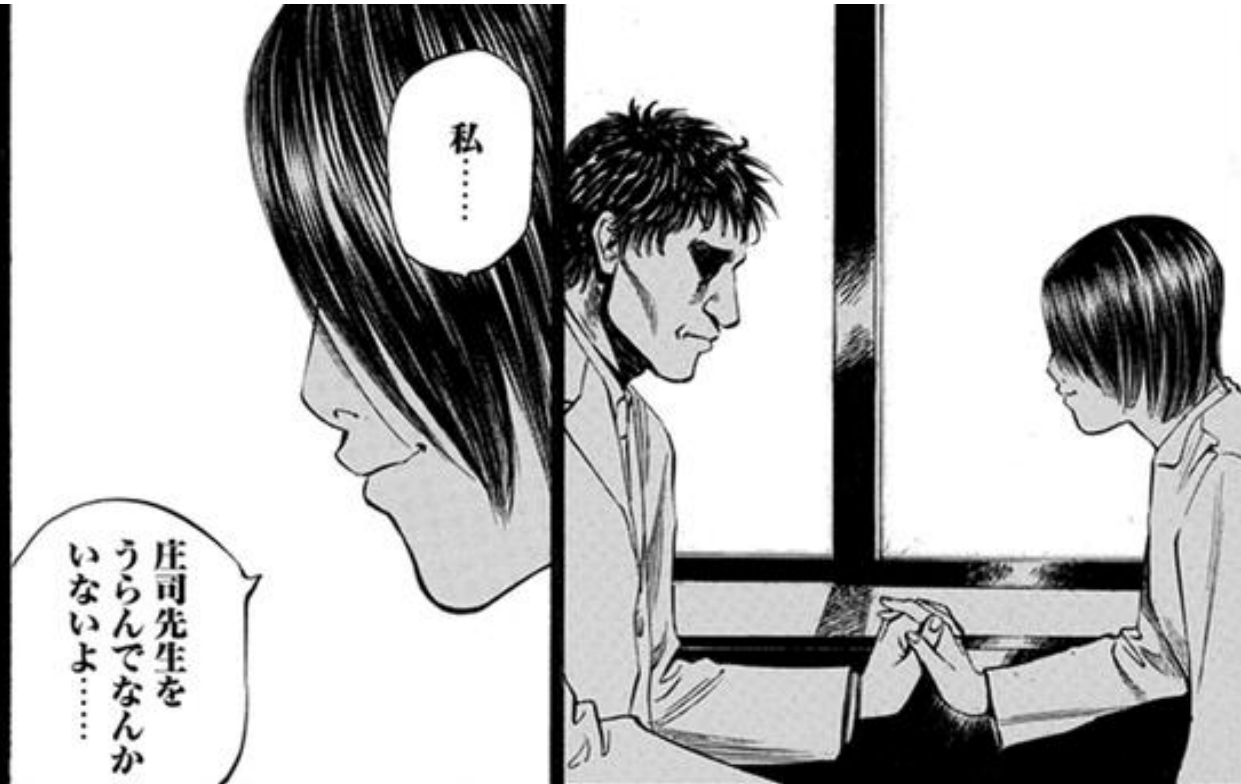












私……

庄司先生を
うらんでなんか
いないよ……



庄司先生は
きっと……

私とあなたに
この時間を
作ってくれたん
だと思う……



だから
手を離さないで
……



手は……



つなぐためにあるんじゃないのかな……？



利用規約

有限会社佐藤漫画製作所及び佐藤秀峰は、「ブラックジャックによろしく」作品の利用に関して、以下の通り規約を定めます。

【自由な利用】

本規約の条件に従う限り、「ブラックジャックによろしく」作品を商用・非商用の区別なく、事前の承諾を得ることなく無償で複製し公衆送信し、また、どのような翻案や二次利用（外国語版、パロディ、アニメ化、音声化、小説化、映画化、商品化など）を行うことも可能です。二次的著作物に関して原著作物の著作権を弊社は行使しません。また、著作者人格権（同一性保持権）を行使しません。

【制限】

1. 書籍の版面の複製禁止

漫画 on web でダウンロードや販売された「ブラックジャックによろしく」第1巻から第13巻までの弊社作成のデータについては、複製、再配布することができます。

書籍の版面を自ら又は第三者が複製したものやデータ化したものについては、再配布を認めません。

2. 「ブラックジャックによろしく」作品のみの利用

「新ブラックジャックによろしく」やその他の作品は、許諾の対象とはなりません。

3. タイトルと著作者名の表示

以下の事項の表示を作品毎に明示的に必ず行ってください。これらの内容の変更はできません。

日本語版		英語版（日本語以外での利用）の場合の表記	
タイトル	ブラックジャックによろしく	タイトル	Give My Regards to Black Jack
著作者名	佐藤秀峰	著作者名	SHUHO SATO
サイト名	漫画 on web	サイト名	Manga on Web
URL	http://mangaonweb.com	URL	http://mangaonweb.com

【免責】

利用者の利用行為については、弊社及び佐藤秀峰は一切その責任を負いません。

【事後報告】

作品の二次利用については、弊社宛 (<http://mangaonweb.com/inquiryTop.do>) に、事後にご報告してください。

条件に従っている限り、事後報告によって利用を拒否することはありません。

制定日 2012年9月15日